新京日日新聞 夕刊 三月二十七日

本紙定價 一部金五錢 一ケ月金壹圓 廣告料金(普通)一行金壹圓五拾錢(特別)一行金貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話 編輯局專用(3)三二〇五 營業局專用(3)三一二〇
發行人 十河 榮 編輯人 松本勇忠 印刷人 水越內之介

南昌周邊各陣地の 敵を徹底的猛爆
故南郷少佐の弔合戰

【〇〇基地廿七日發國通】今次南昌攻略戰に協力、海の荒鷲群は敵の主要交通線粤漢鐵路の爆撃についで南昌前衛陣地及び周邊の敵の

撃破 は眞に目覺ましいものがあつたが、特に南昌は海の荒鷲の名パイロット故南郷少佐の弔ひ合戰とばかり、その戰闘ぶりは徹底的なものであつた、三月初めより粤漢鐵道全線にわたつて線路の爆撃、貨車群の粉砕を繰返し南昌攻略の基礎を固めつゝあつたが、いよいよ去る十九日を期し地上部隊が本格的行動を起すや屢々悪天候を冒し、或は廿米の突風を衝いて勇敢に鐵道全線にわたつて地上部隊に協力しつゝ敵の戰闘力を徹底的に粉砕した、〇〇機により一日數回にわたり一日として缺かすことなく出動したのは津崎少佐、鈴木、福島、尾崎、武田の各大尉、井上、古川各中尉、森田、堤各少尉、小川、酒匂各空曹等で常に

熾烈 なる敵の防空砲火を潜つて全線にわたる敵陣地や密集部隊を爆撃、胸のすくやうな腕の冴えを見せ、一方鄱陽湖南下部隊が呉城に迫るや呉城鎭一帯のトーチカ陣地を反復爆撃して木ッ葉微塵に粉砕、呉城鎭の陥落を早からしめ、この間地上を進撃する陸軍部隊との協力は眞に水も漏さぬ緊密さを示し常に海の荒鷲が敵陣に巨彈を投じその爆音の聞えぬ間に陸軍部隊が突撃して敵陣を奪取し空陸協力作戰の妙を發揮し、その間敵陣地爆撃中不幸敵彈を受け全身火達磨となつて敵前に爆死した鈴木大尉の壯烈なる戰死や、去る廿日呉城附近を敗走する敵軍攻撃中の福島大尉が敗敵の群に嬰兒を抱く婦人の居るのを發見、これを射撃するに忍びず一時射撃を止めた逸話等皇軍の

精神 を遺憾なく物語るものであつた南昌陥落後海の荒鷲は南昌上空に華と散つた幾多僚友のため南昌飛行場に荒鷲の忠魂碑を建てその英靈を慰める計畫を進めてゐる

海陸の荒鷲部隊長 南昌を前に握手

【〇〇基地廿六日發國通】今次江西作戰において爆撃に、偵察に、赫々たる武勲を樹てつゝあるわが陸海荒鷲の總指揮に任じてゐる陸海の兩空軍部隊長は、南昌殺到の二十六日午前十一時〇〇基地において會見、固き握手を交した、なほ陸軍飛行隊長は二十六日午後陸軍機に搭乘して前線の戰況を視察すると共に、空中より地上部隊の奮戰奮闘に對し感謝激勵の辭を機上より投下した

敵必死の抵抗斥け 皇軍續々市街に突入

【江廿六日發國通】わが〇〇部隊は廿六日午後五時過ぎ修水上流三キロ王村附近より對岸よりする敵の猛射の中を敢然敵前渡河に移り河中に横はる七郎廟洲を迂廻して五時卅分第一先遣隊は南昌西南側胡王洲の敵前上陸に成功、さらに胡王洲と南昌市街の間を流るゝ小流を渡河、萬壽宮、賢進門附近より市街に突入した、この先遣部隊に引續き〇〇、〇〇の各部隊は陸續として江を渡河し南昌に向つて雪崩れを打つて殺到中である

【江廿六日發國通】廿六日午後五時卅分〇〇部隊が中正橋上流地點より敵前渡河に成功するや引續き各部隊は夕陽映ゆる 江を渡河し得勝、章江、廣潤、惠民等の江岸に面する各門より一齊に市街目指して突入した

我が荒鷲の威力
飛行場は痘痕の如し

【〇〇基地廿七日發國通】破竹の進撃を續けた皇軍が遂に南昌對岸に達したとの快報に記者は特に許されて廿六日午後川村部隊岩崎七郎曹長の操縦する陸軍機に同乗南潯鐵路に沿つて南下した、やがて[illegible]姑の上空に差かゝる頃南潯線と並行して南昌に通ずる本街道上を南下する皇軍の軍馬の群が發見された、雨上りで凸凹の激しい通路を小刻みに南下してゐる道路の左手には鄱陽湖に連なる湖沼地帶が廣々と擴つてゐる、本道はやがて西北方萬家埠方面から通ずる街道と合流する、本街道は目茶苦茶に破壊されて醜い一本の土塊に過ぎない、然し兩道路の交叉點から北方二粁ばかりの地點をわが戰車〇〇臺が猛牛の如く日の丸を翳して南進を續けてゐる、この時岩崎曹長は百米の近くまで降下して戰車隊の頭上すれ〳〵に旋回すれば戰車隊の勇士達が砲塔の蓋を開いて手を横に振つてゐるのがよく見える、やがて前面に幅廣の帶のやうに 江が見えはじめた、いよ〳〵南昌だ北岸南昌驛附近には僅か數軒の建物があるだけでガランとして廢墟の様だ、南昌驛から僅か右手中正橋の袂にはわが戰車群が犇めき合つてゐる、殘念なことには中正橋の最中洲を挾んで南北に各々四十米ばかり切斷され、南昌を眼前に見ながら切歯扼腕の態である、敵は早くも南昌を放棄して了つた如く橋上から見た南昌市街には人影もなく市街は破壊されて跡もなく無氣味な空氣に包まれてをり市街東方に在る飛行場上空に達すると東側の數棟の格納庫の屋根は無殘に破壊されてその殘骸をさらしてをり飛行場の到る所痘痕の如き無數の穴がある、これはわが荒鷲の爆撃による創痕で如何にわが空軍の襲撃が物凄かつたかを今更の如くに物語つてゐる、東進して八キロばかり 江上に多數の民船が兩岸を往復してゐる、皇軍が民船を利用して勇躍渡河して進撃だ、記者は空から皇軍萬歳を絶叫して夕靄に美しく浮び上つてゐる 江を後に基地に歸還した

南昌

【上海廿七日發國通】陥落に瀕した南昌は南潯鐵路の起點に當り 江に臨む水陸交通の要衝で、江西省政府があり、同省の商業中心地であると共に軍事的にも著名である、日支事變勃發まで蔣介石は南昌に軍事委員會南昌行營を設置して對日抗戰の諸策略を練ると共に南京の失陥後軍事的にも思想的にも中支における抗戰の據點となすべく軍公路の新設、鐵道の警備を行ふと共に、支那最大の飛行場を築設し更に六個師を收容し得る大兵團、大兵營、彈藥、兵糧の大倉庫を建築してゐた、南昌城壁は周圍約二里半に及び古來堅城の名が高かつたが、現在はこれを取壊して環状道路となつてをり、得勝、章江、廣潤、惠民、進賢、順化、永和の七運河が昔時の名殘りを留めてゐるゝが、人口は一時四十萬を數へたが、事變勃發以來激減して現在では僅か數萬を數へるのみで、産物は紅茶、夏布等があり百花州などの名所を有し城内には水が貫流し鄱陽湖を控へ風光明媚、繪の如き水都である

呉城鎭の失陥を 蔣政府どうやら承認

【上海廿七日發國通】鄱陽湖に突出する呉城鎭の敵突角陣地はわが猛攻に廿四日敢なくも破壊したが、蔣政府は廿六日に至りはじめてこれが失陥を承認、重慶からは呉城鎭は日本軍の空爆砲撃のため全く廢墟となり、防禦施設も破壊されたので、防禦軍は同市から撤退するの已むなきに至つたと報じてをり、又一報によれば呉城鎭にあつた襍軍某團は全部殉國せりと傳へ、激戰の有様を如實に報じてゐる

死の斥候見取圖
呉城縣の勝因を作る

【〇〇船上廿六日發國通】夕陽に輝く呉城城頭の日章旗の下で戰友二名を荼毘に附しつゝ相擁して哭く五人の斥候兵があつた、この五勇士こそ陸軍部隊の呉城突入を有利に導いて青海川部隊長から殊勲拔群の激賞を受けた斥候長小柴初男少尉(東京市荒川區南千住出身)及び鈴木、本町、窪田、萩原各上等兵である 廿三日午前四時張家山南方の敵トーチカ主陣地偵察の命をうけた小柴斥候長以下水野正三曹長、保崎上等兵等七斥候は、勇躍曉の明星を頼りに張家山西方二キロの萬年寺の南方高地を迂廻し、さらに呉城南方三里半の太湖池濕地を首まで水びたりとなつて渡り、廿四日午前五時半將に目指す張家山南方高地のトーチカ陣地まで進み入らんとしたとき敵に發見された 七人の斥候兵は五尺餘りの叢原のなかに一時姿を隱したが敵からの機銃射撃は止まない殘念折角こゝまで來てと小柴斥候長が齒ぎしりすると、何を思つたか水野、保崎の兩名は突然同所をはひ出し、敵のトーチカ陣地に忍び込んで行つた、二人を死なせるなと殘つた五名は必死の掩護射撃をつゞけること廿分、五人の勇士が期せずして「二人はやられたかな」と思ひはじめたころ、突然生茂る叢原をかき分けて保崎上等兵がよろめきながら歸つて來た、小柴斥候長の腕にしつかと抱かれた保崎上等兵は、息も絶え〳〵に

自分達二人は敵トーチカ陣地の前面にまで漸くたどりつきましたが、水野曹長殿は身に數彈をうけられました、氣丈な曹長殿は重傷の身乍ら敵陣地の見取圖を書かれ、書き終つて遂に壯烈な戰死を遂げられました、自分も奮闘しましたが衆寡敵せず殘念です、これが曹長殿の書かれた見取圖ですこれで自分達の仇を取つて下さい

と血染の見取圖を小柴斥候長に差出し、更に最後の苦しい息の下で「天皇陛下萬歳」も漸く一聲奉唱してそのまゝ息を引取つた、生殘つた五名は戰友の壯烈なる最期に血涙を呑みつゝ血染の地圖をしつかと持つて辛じて敵の重圍を脱し廿四日午前八時本隊に辿りついたものである、この報告を受けた青海川部隊長以下將兵一同はこの血染の見取圖を得たゝめ同日午前十時から開始された呉城南方部落及び張家山南方の堅壘攻撃は極めて有利に展開し遂に呉城突入路を開くに至つたものである

武寧方面の敵軍 わが猛攻で潰走始む

【〇〇廿六日發國通】武寧方面の敵はわが陸の荒鷲の廿六日終日に亘る反復爆撃と地上部隊の猛攻により全く戰意を喪失して總崩れとなり武寧より西南方に向け夕闇にまぎれて潰走しはじめた、わが秋山下田兩部隊の大編隊軍は數回に亘り敗敵に巨彈の雨を降らせ決定的打撃を與へた

敵軍續々兵力を増加

【陳庄廿七日發國通】廿五日陳庄西北方の敵陣を占領せるわが軍は武寧に向け猛進を開始、高木部隊は廿六日夕刻陳庄西南約四キロの線に進出して大併山を攻撃中であるが、廿六日夜來敵は要衝武寧を死守すべくわが前面に兵力を續々増強しつゝあり、陳庄西方約三キロ港田西方高地において頑強な抵抗を續けてゐる

大併岳占領

【〇〇廿七日發國通】廿六日午後一時わが武寧攻撃部隊は武寧東北側の敵陣地加白老高地及び大併岳(陳庄西南三キロ)を占領した

加白老占領

【〇〇廿六日發國通】修水北岸のわが部隊は陳庄西北方に急進展をなし、武寧東北面の敵最大要害たる標高二千米の加白老(陳庄北方四キロの峻嶮)を廿六日午後六時半占領敗敵を西方に壓迫中

黄河地區を猛爆

【〇〇基地廿六日發國通】わが須藤部隊は廿六日洛縣北方の黄河地點を制壓すると共に關海線窄縣及び伏師附近にあつた敵を爆撃さらに黄河北岸濟源、孟縣を急襲猛爆を加へる一方山口飛行部隊は同日〇〇

靖安縣城占領

【〇〇廿六日發國通】奉新北方の乾州街を進發し北進せるわが諸部隊は廿六日午後八時敵の軍事據點たる靖安を占領さらに東北方に向け追撃を續けて余家(靖安北方六キロ)附近に進出、靖安にあつた敵はわが猛攻に堪へかね周章狼狽西北の山岳地帶に敗走した

海鷲精鋭 南潯線附近猛爆

【上海廿六日發國通】艦隊報道部廿六日午後四時發表

一、廿五日中支方面において海軍航空隊の精鋭部隊は前日に引續き陸軍部隊の作戰に呼應し 水南岸及び南潯線附近全地域に亘り敵陣地または敵密集部隊に對し猛烈なる銃爆撃を敢行これに大損害を與へたり、敵密集部隊の防禦砲火熾烈なりしもわが方被害なく全機無事歸還せり

二、さきに呉城を完全に占領せる海軍陸戰隊は引續き同市の治安維持に任じ全員の士氣ます〳〵旺盛なり、呉城攻略戰における敵遺棄死體は八十にして地雷十個、小銃數十挺その他彈藥多數を鹵獲せり

西興鎭爆撃

【〇〇基地廿六日發國通】陸の荒鷲吉田部隊は廿六日午後三時頃大編隊を以て杭州對岸西興鎭を奇襲し敵の砲兵陣地に猛烈なる巨彈の雨を降らし潰滅的打撃を與へた

窮乏の蔣政府 鹽税擔保債も支拂延期

【上海廿七日發國通】重慶來電によれば、蔣政府は去る一月十五日關税擔保公債に對し元利支拂の延滯を聲明したが廿六日鹽税擔保債務に對して同様の處置をなす旨發表した

宿縣、覇縣方面の殘敵を殲滅

【徐州廿五日發國通】澤田部隊は廿四日午前八時宿縣南方十キロ小廟集、符州を連ねる部落に陣地を構築してゐる敵三百を急襲、頑強に抵抗する敵を文字通り潰滅した、敵遺棄死體三百、負傷多數、また機を以て前後三回に亘り五龍方面に潜入の敵に對し爆撃を加へ多大の戰果を擧げて南方に潰走せしめた

笠原部隊は覇縣南方地區で新四軍四百を潰滅した、敵遺棄死體二百、小銃四十四、彈藥一萬發、馬十、チェコ機銃一を鹵獲

岐口港附近 窩同義匪を潰滅

【北京廿六日發國通】同部、平田兩部隊の〇〇機は廿六日午前十一時廿分岐口港附近に窩同義匪約六百が集結してゐるのを發見これに銃爆撃を加へて潰滅せしめた

軍需品騰貴抑制
陸軍省内に對策委員會設置

【東京國通】陸軍では十四年度の物資調辨價格決定に當つては前年度の調辨價格を超えないやう嚴重な制限を設けこの制限内に於て各般の事情を考慮しこれが適正なる値下げに努力せしむるやう管下諸部隊に示達を發したが、更に軍需品價格昂騰の原因を徹底的に調査しこれが低下の對策を研究審議するため近く陸軍省内に軍需品價格引下げ對策委員會を設置することゝなつた

委員會の構成左の如し

一、委員長(事務次官)一名
一、委員(關係局長)ならびに幹事(關係課長)若干名
右のほか必要に應じ臨時委員、臨時幹事を置く
一、委員長は會務を總理し、必要に應じ會議を召集す
一、委員は委員長の命令を受け研究審議に當る
一、幹事は委員長の命を受け委員會の議案の立案に當る
一、臨時委員、幹事は關係各局科學部隊の高等官のうち陸軍大臣の指名したものよりこれに充てる

フ軍總攻撃開始
コルドバ戰線一帶に

【ブルゴス廿六日發國通】スペイン人民戰線軍の殘敵を掃蕩中のフランコ政權軍は、友邦イタリーのファシスト結黨二十周年祝祭の盛儀に呼應し二十六日ミネイ南方コルドバ戰線一帶にわたり總攻撃を開始した旨ブルゴス政府より發表された

人戰派軍艦 フ軍に引渡し

【ブルゴス廿五日發國通】曩にフランス領内に抑留したスペイン人民戰線所屬軍艦の引渡し問題につきフランコ政府はフランス當局と折衝を重ねてゐたが、廿五日兩者の間に諒解成りフランス政府はチュニスのビゼルタ港に抑留中の人民戰線所屬軍艦全部をフランコ政府に引渡すことゝなつた、なほ目下ジブラルタル軍港に抑留中の人民戰線軍驅逐艦ホセ・ルイス・D・S號も同じくフランコ政府に引渡すに決定既にその旨英政府より發表をしてゐる

人戰空軍 フ軍に引渡す

【パリ廿六日發國通】マドリッドに據る人民戰線政府は過般和平聲明を發し抗戰拋棄の意向を示したが、マドリッド國防會議書記長デルリオ文相は二十六日ラヂオを通じフランコ軍に對する降伏の象徴として人民戰線軍の所有する空軍を引渡す旨を放送した、これによつてマドリッド開城の日がいよ〳〵近づいたことが察せられる

鑛工技術員長に 塚本玄門氏就任

かねて政府では國立大學鑛工技術院長の人選を急いでゐたが、第十四次國務院會議に於いて左の如く決定、横濱高等工業學校教授塚本玄門氏が就任することになつた

國務院辭命 横濱高等工業學校 教授 塚本玄門
任國立大學鑛工技術院長、敍簡任二等、補國立大學奉天鑛工技術院長

甘粕、和田兩氏 審査役辭任

協和會中央本部審査役甘粕正彦、和田勁兩氏はかねてより一身上の都合により審査役辭任を申出でゝゐたが、此程正式辭任を決定した、尚兩氏とも中央本部委員は從來通りである

呂產業部大臣

北滿視察の呂產業部大臣は廿七日午後零時卅分哈爾濱經由で牡丹江より歸京した

人事往來

來京

▲池田重雄氏(會社員)二十六日來京ヤマトホテル
▲高橋孝預氏(公吏)同
▲石橋茂氏(辯護士)同
▲福富一郎氏(大學教授)同
▲豐島平氏(會社員)同
▲和田四郎氏(同)ニューアジアホテル
▲中村森夫氏(官吏)同
▲吉川武男氏(滿洲工廠)大都ホテル
▲松崎清一郎氏(同)同
▲山根貞介氏(京城土木社員)同
▲田井信行氏(千代田生命)國都ホテル
▲有近瀰榮氏(教授)同
▲森岡金藏氏(滿洲鉛鑛)同
▲中村京司氏(三和商事)同
▲坂井芳雄氏(企畫院)同
▲益田直亮氏(同)同
▲丸尾忍氏(同囑託)同
▲中田吉太郎氏(官吏)滿蒙ホテル
▲江副文三氏(農村技師)同
▲廣田任氏(官吏)同
▲羽田雄三氏(同)中央ホテル
▲福田八郎氏(同)同
▲岡田悌藏氏(會社員)都ホテル
▲池浦藤三氏(官吏)同
▲關哲夫氏(小野田セメント)同
▲瀧山靖次郎氏(齊々哈爾領事)帝都ホテル
▲伊藤寅男氏(會社員)同
▲小林十郎氏(哈爾濱領事館員)同
▲宗義太氏(滿洲國官吏)同
▲植木領夫氏(警務廳長)同

出發

▲増田力松氏 廿六日大連へ
▲山根精民氏 奉天へ
▲山崎靖純氏 福岡へ
▲古澤大作氏 哈市へ
▲宗像金吾氏 奉天へ
▲安達三十四氏 大連へ
▲長谷要氏 王爺廟へ
▲米田勇氏 奉天へ
▲永吉由藏氏 同
▲佐藤忠夫氏 哈市へ
▲丸尾治一氏 同
▲野村虎雄氏 奉天へ
▲二階堂輝彦氏 張家口へ
▲古矢道平氏 哈市へ
▲石山馨氏 同
▲飯田半惠藏氏 營口へ
▲竹間宏氏 奉天へ
▲土橋一雄氏 同
▲古森貞久氏 哈市へ
▲小林和介氏 大連へ
▲吉岡新太郎氏 奉天へ
▲坂本登氏 同
▲竹村富二氏 牡丹江へ
▲畑生國彦氏 大連へ
▲中谷國之助氏 同
▲森田信一氏 福岡へ
▲本山辰次氏 東京へ

その日く

□ 戰時下の議會は終つた、興亞の名に果して値ひしたか、これを今後の事實に見よう

□ 總親和の名に隱れて低調となつてはならぬ、眞の革新がはゞまれてはならぬ

□ バトンの授受滿鐵にあり、新しい情勢は新陣容の活動を待つてゐる

□ 伊太利もまた決然乘り出さうとする、歐州の鬩い知性が震撼する

□ まことローマは一日にして成らず、ファシストは二十年の苦闘を重ねた

廿萬社員に訓諭
大村新總裁の第一聲

松岡洋右氏のあとをうけて滿鐵總裁に就任した大村卓一氏は、二十萬社員に對し二十五日左の如き訓諭を發し、二十六日社報を以つて發表された

訓諭

今回圖らずも滿鐵總裁の任を拜するに當り一言所懷を述ぶ

不肖過去三年有餘副總裁として職を滿鐵に奉じ遠大なる抱負と卓拔せる經綸とを以て滿鐵發展史に重要なる一時期を劃せられたる松岡前總裁の下に在りて大過なく今日に至ることを得たり、今や國際關係は益々緊迫を告げ我社の使命愈重きを加ふるの秋に當り總裁の重任を負ふ寔に自ら省みて粉骨砕身も尚足らざるを覺ゆ、然りと雖我社卅餘年の歴史に依りて培はれたる組織力と傳統的精神とは世界に比類を見ざるものにして、然も東亞の新情勢に對處して我社の進むべき方向は既に松岡前總裁に依りて確立せられたり願はくは內副總裁理事以下社員諸員の協力に俟ち外關東軍駐滿帝國大使館及滿洲國と渾然一體と成り大陸經營の前衛としての滿鐵の使命達成に邁進し以て國家の負託に背かざらむことを期す、冀はくは社員諸君克く此の趣旨を體し協力一致一層奮勵努力せられむことを

昭和十四年三月二十五日 總裁 大村卓一

皇帝陛下
滿鐵新舊總裁に覲見を賜ふ

離、就任挨拶のため打揃つて昨夜來京した滿鐵松岡前總裁及び大村新總裁は、二十七日午前九時平島理事の案内で關東軍司令部、關東局、大使館を訪問、夫々挨拶をなした後同十一時卅分帝宮に參內、勤民殿において皇帝陛下に覲見を賜つたが、畏くも陛下には松岡氏の滿洲國交通に盡瘁せる功績を嘉せられ、優渥なる御言葉を賜つた御由で、大村總裁退下後松岡氏は御陪食の榮に浴し感激御前を退下した【寫眞は軍司令官との會見】

擴充職制改正中 央機關より認可

松岡前總裁の置土產、滿鐵大調査機關並に撫順オイルシエール增產計畫に伴ふ職制の改正に關し豫てより中央監督機關に對し認可申請中のところ二十七日認可指令あり、會社では現地監督機關の認可を俟つて發表をなす筈である

長春大街の木材商へ
三人組兇漢侵入
店主に重傷負はす

廿七日午前四時半頃市內長春大街門牌十八號木材商義和祥こと店主王寶祥(四五)は使用人四名と就寢してゐたが、寢込みを襲つた三名連れの兇漢が突如室內に侵入、熟睡の王及び使用人吳雲龍(二九)を目がけ薪割用の手斧を以て斬りつけ、王は頭部骨膜に達する重傷を、吳には眉間に輕傷を負はせて逃走した、急報に接して所轄長通路署では本廳捜査股の應援を得て非常線を張り目下嚴探中であるが、犯人は一物も盜ることなくして逃走した點から考察して怨恨による傷害と見られてゐる

貴族院滿支に 皇軍慰問團

【東京國通】貴族院では支那滿洲における皇軍慰問ならびに內地における白衣勇士の慰問方法に關する協議を遂げるため四月一日午前十時半より院內に各派交涉會を開くことになつたが、皇軍慰問に關しては大體一班七名の慰問團を組織し

▲北支二班、中支一班、南支一班、滿ソ國境二班

となし、何れも四月中旬までには現地に赴く豫定で目下陸海軍當局と交涉を進めてゐるが內地各陸海軍病院の白衣の勇士に對しても別にそれ/\慰問を行ふことになつてゐる

近く南嶺動物園に
國產海豹が登場
營口海岸で捕つた子供です
仲良しになりませう

東洋一を目指して目下着々建設中の南嶺の大動物園は工事進捗と同時に全滿各地より珍らしい動物が寄贈せられ、最近は相當賑やかになつて來たが、又もや一週間前營口沖合で滿人漁師の手によつて捕へられたあざらしの子供が動物園に寄贈された、このあざらしの子供は長さ二尺、二貫目のまだほんの子供ではあるが中銀營口支店の松本市之助氏が貰ひ受け中銀俱樂部山川事務長通じて動物園に寄贈方を申し込んで來たもので、二十六日新京に到着、二十七日午前中銀俱樂部で中保動物園長に引きとられたが、近日中に國都の坊ちやん、孃ちやんにお目見得することとなつた【寫眞はあざらしの子】

王道書院 夜間講義開催

一昨年五月故鄭孝胥氏が基金十萬圓を寄附して設立せる王道書院はその後健全なる發達を遂げつゝあり、最近坪上滿拓總裁を理事長に日高丙子郎氏を院長代理に迎へるほか講師として國務院總務廳佐藤膽齊、大同學院教授曾格、同松浦嘉三郎、民生部編審官劉爽、同闕暎交、建國大學教授稻葉岩吉、同中山優、同岩間德也、總務廳需品局薬參の諸氏を新たに招聘して陣容の充實を圖り、講學と修養の兩方面に力を注ぐと共に王道思想の普及に積極的活動を行ふことゝなつたが、來る四月一日から同院において論語、大學、經書禮記等に關する夜間特別講義を開催することゝなつた、なほ講師並に講義科目は左の通り

月曜日「論語講義」講師岩間德也氏、火曜日「大學講義」同曾格氏、水曜日「精神講話」同日高丙子郎氏、木曜日「經書講義」佐藤膽齊氏、金曜日「禮記講義」同闕文暎

進行中の列車から
軍用鳩で電報を
滿鐵具體的計畫進む

物言はぬ戰士軍用鳩の育成は滿洲、支那兩事變を經て一つの國策として論ぜられてゐる折柄、滿鐵では現在鐵道警備の通信補助機關として成績をあげてゐる「軍用鳩」の實用化に更に拍車をかけて、進行中の列車から電報頼信紙をこの可憐な翼に托して最寄りの驛に運ぶ計畫を具體化することゝなつた、即ち旅客が車中で電報を打たんとする場合電報發信設備のある驛に到着しなければ打てないといふ現狀は列車のスピードアップ化に伴ひ惱みがあるので豫て滿鐵では電々とも協力、これが解決策に腐心してゐたが、いまの電報利用狀況から見て科學的な最新設備をなすより寧ろ軍用鳩を利用する方が效果的であるといふことに一、先づ停車回數の尠い特急あじあから試みることになり滿鐵鳩育成所日下部主任が中心となり目下鳩の訓練中だが八月頃迄には實現の見込みである

馬事宣傳ポスター圖案懸賞募集

馬政局では國民に馬事思想を喚起せしめるため左の要領により馬事宣傳ポスター圖案を懸賞募集する

▲內容主旨 馬の增產改良、愛護を表徵するものにして『馬政局』なる文字を挿入すること▲寸法 半截紙約五五糎×八〇糎▲色彩 制限なし▲締切期日 康德六年四月三十日(同日の消印あるものを含む)▲宛名 新京特別市馬政局馬事科、表面に『懸賞應募ポスター圖案在中』と朱書のこと▲審査 馬政局長之を行ふ▲當選發表 康德六年六月末日までに政府公報並に本紙にて發表▲賞金 一等一名二百圓、二等一名五十圓、三等二十圓、佳作若干名十圓▲その他 應募圖案は一切返戻せず、入選圖案の版權は馬政局所有とす、ポスターの裏面に住所氏名明記のこと

大虎夜行

月に一度のハリキリ日二十五日が土曜に當つたので、國都ネオン街は二十六日にかけて物凄い賑ひを呈し、一流カフエーでは後から/\と押し寄せる客を收容し切れない盛況であつたが、泥醉の果の喧嘩も多く中央通署に檢束されたものが滿映ニユース映畵部吉野寅夫(三一)=假名=を初め十數名、いづれも二十七日刑事室で散々油を絞られて釋放された

安東、奉天間 臨時列車運轉

旅行シーズンに入り滿鐵では安奉線の旅客輻輳に鑑み二十七日から四月一日まで安東、奉天間に臨時急行列車を運轉することになつた、同列車の發着は

△下り安東發十二時、奉天着午後六時二十八分▲上り奉天發午前十一時四十分、安東着午後五時五十分

である

電々本社機構改革
人事刷新も斷行
長谷川管理局副局長は北支行

電々會社では政府の國境建設計畫に即應して北滿通信施設の擴充を計ると共に、本社機構改革を斷行して用度課を需品部に昇格、機能を擴充することに決定して、四月一日より實施することになつたが、これと同時に地方管理局長、本社課長級の人事刷新を期すべく廣範圍の異動を斷行することになつた、而して目下內定せる主なるものは長谷川新京管理局副局長の華北電々轉出による辭任、三宅奉天管理局長の辭任による松尾本社電話課長の榮轉、建部放送課長の大連管理局長、水內承德管理局長の新京管理局副局長就任等である、初代新京放送局長として功績のあつた長谷川副局長も想出での滿洲を去り北支で活躍することになつた【寫眞は長谷川氏】

貨物列車顚覆 連京線不通

廿七日午前十一時十五分頃連京線許家屯、高家崗間に於て下り八九九列車(貨物)の十三輛目から後方四輛が突如脫線顚覆し同線は上下とも不通となつた、急報に接し大石橋驛より救援列車を仕立て現場に急行、復舊に努めてゐるが午後二時頃までには開通の見込みである、原因は不明だが幸ひ人畜には死傷がない

鄭氏の一周忌に 追悼法會

來る三月廿八日は建國の元勳前國務總理鄭孝胥氏の一周忌に當るので故人に特に緣故の深かつた張國務總理ならびに當時の國務委員代表者等が發起人となつて同日午後四時半から協和會館大講堂において佛式をもつて一周年追悼法會を營むことゝなつた、なほ當日は時節柄簡素嚴肅を旨とし故人の遺德を偲び併せてその英靈を慰めるとのことである發起人氏名は左の通りである

張國務總理、臧參議府議長、熙宮內府大臣、星野總務長官、橋本協和會中央本部長、大橋參議、丁電業社長、林最高法院長、于新京特別市長、坪上王道書院理事長

滿洲陸上競技協會
國際陸聯に加盟
三十日調印式の運び

【東京國通】大滿洲帝國陸上競技協會は日本陸上競技聯盟の斡旋により國際陸上競技聯盟に正式加盟すべく、近く日本陸聯平沼會長の紹介狀を添へて加盟申込書を國際陸聯エドストローム會長宛郵送することゝなつた、このため滿洲體聯では來る卅日午後五時から丸之內中央亭において日本陸聯との間に國際飛躍の第一步たる歷史的な國際陸聯加盟手續調印式を擧行することゝなつた

農村區長會議

特別市公署の郊外農村地域に對する力の入れ方は最近相當注目すべきものがあり、春耕期を前にして愼重な對策を考慮してゐるが、第二回農村區長會議を廿七日午前十一時より市公署會議室で開催、全般的近郊農村厚生問題を始めとし、馬匹改良裝蹄實施、家畜交易市場業務、戶口調査事項、農村地捐農用大車捐の整理、農村地區警備道路の改修、種痘、狂犬病豫防注射問題等につき市公署側の指示あり、種々協議して十二時閉會した

店友協會獻金

市內に在る各旅館のボーター五十數名は數年前から店友協會といふを組織し會員の親睦、修養等に努めつゝあるが、時局に鑑み毎月十五日を國防獻金デーとし應分の醵金を行ふことを總會で決議し第一回の分十七圓七錢を協會長寺崎竹次郎氏から二十七日本社に託して來たので直ちに所定の手續了した

哈爾濱學院解消 滿洲國接收

對ソ關係の緊迫化に鑑み政府は既設の哈爾濱學院を滿洲側に接收しこれを滿洲國學制による大學に改組することゝなり近く國立大學哈爾濱學院設立要綱ならびに國立哈爾濱大學官制案を近く國務院會議に上程することゝなつた

即ち舊哈爾濱學院の買收費その他合計四十五萬七千圓の豫算を計上し簡任院長一名、教授簡任三名、薦任十三名を置き、四月一日設立を見る筈である 同校は中學四年終了又は國民學校卒業者を毎學年百名收容、從來日本人のみであつたのを滿鮮蒙露の各民族のために開放すべく官費生とし修業年限は四ヶ年である、從來の哈爾濱學院は大正九年以來幾多の人材を輩出し滿洲國建國に重要役割を果して來たが、こゝに廿年の光輝ある歷史は更に新しき使命達成のため發展的な閉校を見た譯である

相撲夏場所 五日番付發表

【東京國通】大日本相撲協會昭和十四年夏場所番附は來る五月五日午前五時發表、續いて十日觸れ太鼓、いよ/\十一日に蓋開けしこの場所から十五日間興業となつたので廿五日千秋樂となつてゐる、協會ではこれに先立ち勸進元が決定したので廿五日午前十一時から協會廣場で盛大な御免祝を擧行した

大新京檢番 五月下旬溫習會

創立以來堅實な步みを續け隆盛の一路を辿りつゝある大新京三業組合では五月下旬を期し創立第一回の溫習會を華々しく擧行することに決定、三十日ブロ、日時を決定する最後の具體的打合せ會を開催することゝなつた、尙同溫習會の出場人員は總計三百名に上り踊りは若柳、藤間、西川流唄は長唄、常磐津、清元と日本藝術の粹を網羅する豪華版で期待されてゐる

琿春、慶源間のバス運行開始

琿春と慶源を結ぶ鮮滿交通の古き歷史を持つバスの運行は昨年夏の水害のため國際橋の流失以來杜絕されてゐたが、これが補修なつたので廿五日より一日三回往復バスの運行を開始することゝなり、待望された琿春への交通路は再び開かれた

京商修學旅行

新京商業學校新五年生百五十名は三十擔任教諭引率の下に來る三十日新京驛發朝鮮經由、約二十日間の豫定で內地各地修學旅行の途に上ることになつた

青年學校後援會總會

新京青年學校後援會では新年度開始に先立ち特別市日本學校組合の主催で青年學校生徒入學出席勸誘座談會を二十九日午後二時から青年學校三階で開催されると同時に總會を開催する

小島精一氏

日本經濟の權威小島精一氏は中北支東滿を經て四月一日午後九時三十五分來京の豫定

觀光聯盟總會に 細川主事出席

第三回滿洲觀光臨時總會は四月六日午前十時から奉天鐵道總局で開催されるが、新京觀光協會からは細川主事が出席本年度の國都觀光に關する十數項の提案並に事業說明を行ふことになつた

團體往來

△青少年義勇軍保姆赴任者團四十七名四月三日午前六時十八分着京五日午前九時京濱線にて赴哈

△海拉爾白系露人訪日視察團二十三名四月三日午前六時五十三分來京同日午前九時三十分南下

△綏化訪日商工視察團二十五名四月三日午前六時五十三分來京同日午前九時三十分南下

△滋賀師範學校生徒七十名四月五日午後十一時三十分來京協和會館一泊六日午後十一時五十分哈市へ

△大阪文樂新義座一行二十三名四月十四日午後八時十五分來京十五日午後十一時三十分奉天へ

あす(廿八日)

▲國婦衛生相談 午後二時より於國防會館

▲滿洲鹽業會議 於ヤマトホテル

▲國務院統計講習會 於記念公會堂

▲于市長一行渡日出發 午前八時十分

▲松岡前滿鐵總裁一行離京 午後五時三十分

今晩の主なる放送

▲七・三〇國民歌謠(東京)長門美保▲七・四〇講演(東京)樋貝詮三▲八・〇〇歌劇(東京)由利あけみ外▲八・四〇小唄(新京)北村篤三外▲八・五〇舞臺劇「戀女房染分手綱」(東京)市川權十郎外

"はたらく一家"
成瀨の快よい立直り(東寶作品)

成瀨巳喜男の「鶴八鶴次郎」に次ぐ監督作品で德永直の原作を得て自ら脚色に當つたもの。在來此の人の好んで手がけてゐたものとは急角度の方向轉換をしてゐる題材であるが、思ひがけなくも永らく臭つてゐた成瀨巳喜男の快よい立直りが見出される。

◇

曾て「桃中軒雲右衛門」においても一度同じやうな轉換があつたのであるが、今度の場合は「桃中軒」の場合のやうに摩擦の多いものではなくしつくりと身についたものを見せてゐるのは矢張り此の人の成長を示すものであらうかとに角、此の種のものに好ましい觸手を伸ばしてゐる東寶企畫が「雪崩」「禍福」の成瀨にこの題材を與へたことは成功であつた。

◇

描かれてゐるのは庶民階級の日常生活である、一家十一人の大家族、働くものが父親と長男、次男、三男の四人でこれが朝から晩まで働きつゞけて得る收入がしめて百四圓この中家賃が十八圓、米代が卅餘圓といふギリ〳〵の生活、一人でも倒れたら大問題である、ところへ長男が家を出て獨學をしてでも電機學校に行きたいと言ひ出した、忽ち一家は大きな不安に動搖する。

◇

生活故に自分の將來のための希望まで捨てなければならないと言ふ長男の煩惱が家族の一人々々に與へる反應を細かく捉へて、然も全體に明るさを失はないでゐるのはよく結局長男の翻意によつて「長期建設だ、頑張れ〳〵」の最後へ救ひを繋いだ盛り上げは一應妥協を認めるとしても瞬間心を打つものを感ずる、くよ〳〵せず氣長く、強く働く生活、これも銃後建設のためには必要なものだ、この映畫が何ら標榜することなくして自から現下の時局意識に結びついてゐる點、實質の伴はない所謂時局映畫の大いに學ぶべきところであらう。

◇

德川夢聲の父親は適役ではないが仲々の好演、子供の中では長男の生方明が出色。丸山薰の次男以下年少軍の活躍もよく、本間教子の母親が殆ど背景となつてゐる他、捨て難い味を見せる老人と老婆の存在が利いてゐるのは、これら非俳優(?)の素人臭い良さよりも主として演出者の功績であらう、大日方傳の先生、椿澄枝のミルクホールの娘は刺身のツマの如きもの。佳作。帝都キネマ上映中、寫眞はその一場面【和】

地方民衆の啓蒙に 十六ミリ發聲映畫
滿映の巡回映寫計畫成る

滿映では省、縣、旗、市映畫班設置四ヶ年計畫遂行の第一年度に當り「十六ミリ發聲映寫機全國普及」及び「十六ミリ發聲フイルム・ライブラリー・システム確立」の前哨的宣傳を兼ねて政府、協和會及び各種公共團體　教育機關等の後援の下に映畫による建國精神の宣揚、國民精神の作興を期し併せて健全娛樂提唱の國策に准據すべく、かねてより十六ミリトーキー巡回映寫計畫について具體案を練つてゐたが、この程弘報處、治安部、民生部、協和會中央本部はじめ各特殊係、福祉係の意見をも徵し左の如く最後的決定を見、近く實現の運びとなつた

一、鐵道沿線巡回映寫班(四月上旬より九月末迄)南北二班にわかれて上映す
二、僻地巡回映寫班(十月より明年三月迄)北廻り東廻り二班を西部、東部、北部國境縣旗に派し、一縣旗平均十日間上映する
三、開拓村巡回映寫班(五月上旬より)濱江、龍江、黑河、三江、牡丹江の開拓村を巡回上映す
四、在滿日本人小學校巡回映寫班
五、民生部直轄、學校に巡回映寫班を派し又フイルム配給サーキツトを設定す
六、省、特別市、所管師道學校、國民高等學校、職業學校に巡回映寫班を派し又フイルム配給サーキツトを設定す
七、娘々廟會(吉林、大屯、大石橋、千山、奉天)に對する巡回映寫班を派す
八、河川沿岸巡回映寫班を派す
九、鑛工業部門現地事業場に巡回映寫班を派しフイルム配給サーキツトを設定す
十、傷病兵慰問の巡回映寫班を派遣す
十一、國防團體その他公共團體依賴の巡回映寫およびフイルム配給サーキツト設定
十二、蒙古人、白系露人、朝鮮人を對象とする巡回映寫ならびに地域又は施設別フイルム配給サーキツトの設定

なほ滿映では右計畫實施に必須缺くべからざる巡回映寫宣撫技術員を現地及び中央で養成、巡映技士と同時に宣撫員たるべく滿映本社技士のみならず依賴養成を行ふが、この巡回映寫が圓滑に實現された曉は民衆の啓蒙上絕大なる效果を擧げ得るものと關係各方面にその成果を期待されてゐる

梅中軒鶯童 四月一日から公會堂で

浪曲ファンには聞きのがせない梅中軒鶯童師の來演が決定した、四月一日から二日間記念公會堂でお得意の「吉原百人斬」「紀之國屋文左衛門」等の新文藝浪曲を口演するが師はこの道の先驅者として既に定評ある人、その堂々たる音聲節調は浪曲界にデヴュー以來廿有餘年驕らず怠らず只管研鑽を重ねた賜物であるとされ、今日愈よ油の乘り切つた詞節には浪曲ファンを唸らすに充分なものがあらう

海外映畫短信

△聖林の婦人新聞記者俱樂部はファン雜誌の寄稿家を加へて三八年度の優秀映畫及び優秀俳優の投票を行つたがその結果は、優秀映畫、第一位「わが家の樂園」(コロムビア)第二位「ジイゼベル」(ワーナー)優秀男優、第一位スペンサー・トレーシイ、第二位ロバート・モンゴメリイ、優秀女優、第一位、ベット・デーヴイス第二位フエイ・ベインター

△メトロではバーナード・ショオ原作アンゾニイ・アスキス監督レスリイ・ハワード、ウエンデイ・ヒラー主演のイギリス映畫「ピグマリオン」の配給權を獲得してアメリカ封切を行つたが好評であると

仙人掌

サラリ毎に貯金し來店間もないのにもう三百圓は貯めたらうといふ感心なカフエー大新京の天草クン▼たつた一度醉つて大虎になりお客さんにだかれて介抱されたことがあつた、それ以來御兩人の仲は急速に親密の度を加へ、では、それならばといふところ迄發展せんとした直前▼彼女が銀座茶苑で他の彼氏を待ちながらお茶を飲んでゐるところを不運にも親切な前のお客さんに發見され目下暗雲低迷中とか▼なくて七癖と言ふからには人間箸の上げ下ろし、歩き方、さては女となればいろいろと癖はあらうもの、一寸電話を例にとつても▼『モシ〳〵あたしけい子、そう、月給日なのね、さう使つちやはらよ、何、何だつた、ワシだつて藝妓ぐらゐ買へるよ、女だつて買つて惡いことはないぢやらう』▼『ウン、アタシミキよ、アロマのミキよ、ウン、ウン、ウーン、どうしたのよ、ウンネーウーン』▼『エ、シドニー惡かつたワネ、もし〳〵でなたどなた?え、わたし、銀パレスのシドニーよ、なんだつて馬鹿だつて、そう馬鹿は死なきやならないと』

雜音

牛島映畫「沈濤」と松竹「權太の小判」「女こそ家を守れ」三本を掲げた長春座の初日は土曜日スタートの好日取りに惠まれて強調な客足、これは松竹プロより「沈濤」についた客足が堀つてゐるものと見られる▼一日先きにスタートした豐劇のデイック・ミネも土曜日は好調な入り、ベテイ・稻田、牧野狂二郎を加へた舞台はアトラクションとしては類型以上に出でないもの、要するにこの種のものゝ今後はスターを賣り物にするより小さいなら小さいなりにステェヂショウとしての工夫を考慮することが必要のやうである▼引續いて日曜日も好調な客足を見せたが、こゝの土曜、日曜日の入りとしては、このアトラクションの有無は客足に左程の影響を及ぼしてゐるものではないと思はれた▼けふからの寫眞替りは川浪良太郎の「菩薩の眉」と夏川、三井三宅の「第一線の人々」の松竹二本立

火曜　甲子　先負　收　翼宿
東京・本鄉・神誠館

●一白の人　內外ともに溫情に充てる日自然の發展あり西と丁と甲が吉
●二黑の人　心を締ざれば意外の邊より縺れを生ずべし丙と丁と北が吉
●三碧の人　勤勉にして他に心を散さずば吉日たるべし坤と北と甲が吉
●四綠の人　薄命の日にして何事にもあれ凶に走り易し甲と丁と癸が吉
●五黃の人　根氣よく物に倦ざれば發達の緒を開くべし南と北と甲が吉
●六白の人　確く本分を守り慣れぬ事には手を出す勿れ丁と庚と甲が吉
●七赤の人　內を虛にして外にのみ走るときは敗れあり東と南と辛が吉
●八白の人　一歩は一歩より地盤を固めて漸次進むべし丁と東と辛が吉
●九紫の人　次第次第に幸福になり行く吉日急ぐなかれ東と丁と癸が吉

大正九年十月二十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

朝刊 【本紙朝夕刊十二頁】

本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓五拾錢（郵税）
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用③三二二五 營業局專用③三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越內之介

南昌完全攻略

二十七日午後六時四十分
敵中支據點遂に潰滅

中支軍三月廿七日午後九時十五分發表＝我軍は廿七日午後六時四十分完全に南昌を攻略せり（贛江廿七日發國通至急報）

【上海廿七日發國通】蔣介石は南京失陷後南昌を中支方面の最大軍事據點とすべくソ聯人の指導を仰いで金城鐵壁の軍事施設を構築、優勢なる兵力をもつて防備强化に必死の努力を傾けると共に、思想的にも抗日の本據たらしめ、わが無敵皇軍の進撃を阻止せんとしたが、わが精鋭部隊の勇猛果敢なる破竹の進撃に南昌の新マジノ・ラインも遂に潰滅し去つた、南昌の失陷により蔣介石の中支方面における抗戰陣營は致命的痛撃を蒙り南昌を據點とし揚子江遮斷、江北攪亂に出んとする敵の企圖も玆に全く破碎するに至つた、かくて敵の最大軍事ルートたる浙贛鐵道の切斷は敵第三戰區の糧道を斷つ一方、湖南、江西に誇る第九戰區を寸斷したことゝなり、湖南省に蟠居し蠢動を續ける敵遊擊隊の包圍態勢を形成するに至り中支の安寧秩序は一段と確保され、偉大なる戰果を齎すと共に武漢失陷後最大の抗日思想の根源を全く芟除潰滅し去つたのである

浙贛鐵道を遮斷！ 分岐點爆破に成功

【水河畔曾家廿七日發國通至急報】廿六日午後 水を突破〇〇鐵道遮斷のため進撃中の池田部隊は廿七日午後六時篠つく雨を冒し該鐵道の要點湯家（南昌南十六キロ）附近に肉薄した

【水河岸曾家にて廿七日發國通至急報】廿七日午後五時廿分池田部隊は浙 鐵路分岐點店坊黃、萬合街東南方二里に於て同線路を完全に爆破遮斷し、又町田挺身隊も他の地點に於て同線路遮斷に成功し凱歌を奏した

【水河畔曾家廿七日國通】廿六日早朝奉新を進發した野田部隊は廿七日午後六時破竹の勢ひをもつて高安縣城目指し豪雨を衝いて進撃中

靖安附進で敗敵を猛攻中

【〇〇にて廿七日發國通】乾州街より北上せる二木、池田、松崎等の諸部隊は廿六日靖安の敵を擊破した後、更に惡路を冒しつゝ北進を續け廿七日拂曉靖安北方五キロの餘家附近において第一線の敵を包圍殲滅中である、これにより廟前街南方の谷地では今や敵は全く袋の鼠と化した、また他の一部隊は靖安より西進し廿七日拂曉靖安西方三キロ附近で有力なる敵を猛攻中である

南昌の敵軍 退却に當り放火

【〇〇基地廿七日發國通】わが軍の飛行隊の偵察によれば南昌の敵は退却に當り各所に放火したものゝ如く黑煙は市內數ヶ所から天に沖し物凄い光景を呈してゐる

象湖附近に進出 敗敵を擊滅中

【〇〇廿七日發國通】わが有力部隊は廿六日午後五時南昌上流廿キロ生米街及び更にその上流五キロ曾家より民船を利して 江を渡河して南昌南方に進出し象湖附近において南昌より敗退する敵を擊滅中である

中正橋爆破 敵自軍の退路を遮斷

【南昌對岸にて廿七日發國通】わが〇〇快速部隊は廿六日午前十時南昌車站に疾風の如く迫つてこれを占領し、更に驀進を續け車站より〇江上に架せられた鐵橋中正橋に猛進した刹那、敵は同橋梁に裝置した爆破機のスヰッチを入れ轟然たる音響と共に橋梁中央部約三間を爆破した、橋梁上を先頭に進擊してゐたわが戰車はあはや吹飛ばされんとしたが危機一髮爆破個所の寸前で急停車し辛くも難を免れわが方には何等損害もなかつたが、このため一時進擊を阻まれ目指す南昌を僅か一千米の對岸に睨みつゝ橋梁の修理を待つの止むなきに至り、一方松井部隊の精鋭は友軍と協力夜を徹して着々渡河準備を進め、完了と共に一氣に渡河し南昌に突入せんと意氣軒昂たるものがある、敵の爆破した橋梁は南潯鐵路に集結してゐる大部隊の退却用に破壞せずにゐたものであるが、皇軍の猛擊に味方の退路が塞るのも知らず爆破したもので、これによつて支那軍は南昌西方區の味方の大部隊を全く袋の鼠とするの愚を演じたわけである

重要兵站ルート 遮斷された浙贛線

【上海廿七日發國通】わが軍の南昌占領によつて遂に遮斷された浙 鐵路は隴海鐵路とゝもに支那大陸の二大橫斷鐵路で杭州對岸西興鎭を起點となし炭礦をもつて鳴る江西省萍鄕まで總延長一千粁を越え杭州對岸より玉山まで三百五十九粁は一九三三年十二月完成、玉山より南昌まで二百九十二粁は一九三六年一月には開通、更に南昌、萍鄕二百六十二粁は支那事變勃發直前の一九三七年六月に竣工したものであつて錢塘江橋架橋により上海より南昌への直通列車運轉も計畫されてゐたがこの企圖も既に水泡に歸した、浙 鐵路の貨物は茶葉、食鹽、商米を大宗となし浙江の鹽を江西に送るとゝもに江西の米を浙江に運ぶ重要なルートとされ事變中食鹽は每月平均四千噸、商米は每月平均五千噸を輸送し經濟的に重大な意義をもつてゐたが、更に軍事的重要性に至つては一九三七年七月抗戰開始以來三八年十一月までの七月間に五百七十七次に亘る軍用列車を運轉、十六萬の兵力と十二萬噸の行李を運送したことによつても窺ふことが出來る、本年一月九日よりは萍鄕、株州、衡陽間の粵漢鐵路本支線及び昨年十月通車したばかりの湘桂鐵路と連帶浙江省金華より南昌、長沙、衡陽、桂林に到る直通列車を運轉して居り上海より外國船によつて溫州港に到り更に內河汽船及び公路によつて金華に出で此處より鐵路によれば上海方面より重慶方面に到る最捷路を構成してゐたに抗戰以來種々の意味からいつて注目され來つた鐵路である

孫科モスクワ着

【モスクワ廿六日發國通】モスクワ外交界の消息によれば蔣政府特使孫科は隨員二名を隨へ廿六日モスクワに到着したと云はれる

武寧へ僅か一里半

老虎頭（陳庄西南）拔き猛進擊

【陳庄廿七日發國通】廿七日朝來猛烈な進擊を開始した高木部隊は要地大併山の峻嶮を突破、午前十一時陳庄西南方約五粁の老虎頭を占領、修水に沿つて猛進中である、武寧まであと一里半、この方面の戰況も著しい進展を見せてゐる

敵の損害概數

【漢口廿七日發國通】連日に亘つて武寧四邊陣地に據る衆敵と激戰をつゞけてゐるわが武寧攻擊部隊が廿二日以降廿四日までに與へた損害は左の如く甚大なものがある

▲交戰敵師團名 三、十六、五十三、七十七、新編十六師、軍政部直屬百四十二△敵遺棄死體三千七百△捕虜七百十（內少佐一、大尉一）△鹵獲品機關銃卅九、小銃九百五十、速射砲一、迫擊砲十三

徐家埠に進出す

江上艦艇修水を遡江

【上海廿七日午後四時發表】艦隊報道部廿七日午後四時發表＝中支方面戰況

一、吳城攻略戰に偉功を奏したる江上艦艇は更に主要水路の啓開作業を續行中にしてその一部は陸軍の作戰に呼應し修水を遡江、廿六日既に徐家埠に進出せり

二、海軍航空隊は連日の猛爆にも更に疲勞の色なく廿六日惡天候を冒し南昌西北方地帶における陸軍の作戰に協力、萬家埠附近の敵陣地及び鄱陽湖附近において渡河せんとする約三千の敵密集部隊を重爆擊し、これに潰滅的打擊を與へたり、わが方被害なし

南部山西肅清戰

【太原廿五日發國通】南部山西太岳山脈に遁入して餘命を保つてゐる中央直系八十三師の潰滅を期し廿日夜半絳縣東北方地區に攻擊を開始した我室谷部隊は廿二日拂曉、梅村、柳村附近にあつた五、六百の敵を攻擊し續いて魯谷及びその東方陣地の攻擊についで敗敵を追つて山中深く突入三日月の薄明りの中を隨所に敵を索めて攻擊を續行し廿三日は反轉して西南方に向け追擊を續けてゐる

この戰鬪における當面の敵は中央直系の三十三師のほか山西軍七十一師の一部合計約千五百なること判明した、廿三日までの敵死體百、捕虜七、鹵獲品―小銃十、手榴彈三百、小銃彈五千

なほ室谷部隊の攻擊に策應し〇〇部隊は廿三日朝翼城附近より行動を起し東南地區、中賀水、西張村附近にあつた敵を擊破、續いて南張村東南の陣地に據つて山砲、迫擊砲を以て頑强に抵抗する八十三師四百九十八團の約一千を攻擊これを南方に潰走せしめた

この戰鬪における敵遺棄死體七十五、鹵獲品―小銃二十五、機銃二、小銃彈二千七百、その他

冀中掃蕩狀況

【北京廿七日發國通】冀中掃蕩狀況―

一、石川、細川の兩部隊は廿五日雄縣東北十五キロ李園張察莊附近で各五百の敵を攻擊これに大打擊を與へた兩部隊の戰果は敵の遺棄死體七十

一、白陽淀沿岸を掃蕩中の時崎部隊は廿四日白陽淀東南の任邸を占領、廿五日未明より同地東南八キロの楡林堡附近に蟠居する敵數百を潰滅した、敵死多數に上る見込み

重慶政府各機關 一ヶ月以內に移轉

【上海廿七日發國通】過般來重慶高級官吏並に避難民の重慶撤退を勸告してゐた重慶政府は今回官報を以て各政府機關を重慶郊外百キロ以內の各縣に一ヶ月以內において移轉をなすべき旨發表した

程潜の後任詮衡

【香港廿七日發國通】わが航空隊の空爆の際受けた負傷による西安行營主任程潜の死に狼狽した蔣政府はこの事實を只管隱蔽する一方、善後策を考究中で現在のところ蔣介石の懷刀たる陳誠が蘭州に急行して一應の事務處理ならびに行營所屬各部隊の指揮にあたつてゐるが、確報によれば蔣政府では程潜の後任候補者として錢大鈞、黃紹竑、朱紹良並に陳誠の四名を擧げ人選中で陳誠の蘭州よりの歸來を待ちその報告聽取の後決定することゝなつたと傳へらる

臨時政府首腦

【北京廿七日發國通】維新政府成立一周年記念式並びに第四次聯合委員會々議に出席のため王克敏臨時政府行政院長、朱深法部總長、興亞院華北連絡部長官喜多中將一行は廿七日午前九時半西郊飛行場發南京へ向つた

中條山脈の中央軍三千を擊滅

【太原廿七日發國通】臨汾東方山地即ち中條山脈は最近中央直系第十師の約三千が潛入し附近部落を占領、且つ同蒲線南段を窺ふ形勢にあるを探知したわが米岡部隊は廿三日を期して、これが潰滅行動を開始し山砲三、迫擊砲六を擁して抵抗する敵を擊攘しつゝ廿四日の拂曉戰をもつて一氣に東塢嶺の山中深く追込んでしまつた

敵の遺棄死體百三十、鹵獲品小銃廿、手榴彈百六十四なほ廿四日の拂曉戰で米岡米吉部隊長は陣頭に立つて敵陣に突入した際一彈は部隊長の左上膊部を貫通負傷した

和戰兩派軋轢愈よ深刻化

蔣政府、徹底抗戰呼號の裏 蔽切れぬ和平機運

【上海廿七日發國通】抗戰十八ヶ月國內の凡有る重要都市を奪取され、今また漢口拋棄後の唯一の軍事的、思想的據點たる南昌すらも既に失陷の已むなきに至つた抗戰蔣政府は事每に最期抗戰を呼號最後の勝利を謳歌しつゞけてゐるが、抗戰首腦部をめぐる和戰兩派の軋轢は想像以上に深刻化しつゝある模樣である、最近當地に達した情報によると曩の五中全會において抗戰態勢一段の强化の建前から全國統制軍の指揮權を一手に掌握すべき目的をもつて設置されたと傳へられる國防最高委員會々議はその實猛烈なる勢をもつて擴大しつゝある抗戰派の主張を押へる一方和平機運の全國的情勢のために結成を見るに至つたものであるといはれる、即ち共產派と抗戰の一點において緊密な結びつきを示す黃埔系少壯軍人を中心とする抗戰派はひたすらに小兒病的徹底抗戰、最後の勝利を主張するのみでこれに對し蔣政府部內の元老溫健派は非常なる危惧と不安を寄せてゐたが汪脫出を契機にかゝる空氣は隱然たる和平機運となつて蔣政府部內に擴がりはじめ遂に國防委員設置をめぐつて共產黨代表者周恩來と溫健派との間には深刻激烈なる議論が交され結局成立を見た同會議は當然參加を見るものと豫想されてゐた共產派代表以下抗戰强硬派代表の締出しとなつて誕生したのである、かくて同會議は溫健派の計畫通り全國的に和平機運の釀成のために最高權力を持つものとして成立するに至つたものであると言はれるが、何れにしろ蔣政府首腦部內の和平機運は相當明瞭なる型をもつて擡頭しつゝあることは事實で最近蔣介石がカー大使の來渝を再三懇請してゐる事實も右和平勢力の擡浸に密接なる關係を持つものに非ずやと觀測される

鄱陽湖に敵前上陸 【青海川部隊】

偶語

近代の青年はよく職場をかへたがる 其れは第一に最初の職業撰擇がいづれどうにかならうといふ所謂行あたりばつたり的の無定見であること▼第二に忍耐と努力、責任感の缺除等が擧げられる▼人は或る程度耐へ忍ぶことによつて前途に光明を見出し新生面を開拓し得るのであるが▼一寸したことにも〃と屁古垂れたり上司先輩が目をかけてくれないと自己を投げてかゝるやうでは、その職場に止まることは出來ないであらう、また職場をかへても同じことである▼これら薄志弱行の徒の體內には歐米の自由主義といふ厄病神がちやんと宿つてゐるからだ▼如何なる仕事でも手段や方法を一新せば氣分も變る、氣分が變れば更に新しい方面が展開される▼情實に泥み習慣に囚はれて息づまる鈍重な空氣中に躊躇するの愚があらうか▼一轉、再轉、又三轉、轉心、轉氣、又轉精、此の要訣で厄病神を追ひ出せば神經衰弱もけろりと治つて明朗になる▼仕事が面白く能率も上る、時代からはみ出されるが如きは絕對なきこと請合た

フ軍、人戰派の休戰交渉遂に決裂

【マドリッド廿六日發國通】人民戰線軍の最後の城砦マドリッドに據るミアハ內閣は、過般來フランコ政府との間に休戰交渉を進めてゐたが、廿六日夜に至りマドリッド防衛委員會書記長デルリオ文相はラヂオを通じて右交渉は空軍引渡し及び人民戰線側首腦のスペイン退去問題に絡んで遂に決裂した旨發表した

フ軍、コルドバ戰線で總攻擊

【ブルゴス廿六日發國通】フランコ軍は廿六日未明を期して南方コルドバ戰線三百五十キロに總攻擊を開始した、人民戰線軍は虛を衝かれた形で殆んど抵抗を試みることなく後退、フランコ軍は破竹の勢で進擊を續けてゐる

社説 北支通貨工作の進展

中國聯合準備銀行のいはゆる聯銀券は、これまで法幣に對してずつと攻勢を取つて來た。そして軍事行動が冀東、冀中、山西、魯南の殘敵大討伐によつて北支の治安恢復に一段階を現出したのと期を同じくして北支殘存の舊法幣討伐もまた一大飛躍を實現した。三月十日を最終とする舊幣の流通禁止、三月十一日より實施された北支の貿易管理、爲替管理の斷行は、聯銀券をして單に日滿支間のみならず、世界貿易通貨としての實體、實質を具備させることになつたのである。これは偶然の時期の一致ではなく、軍事行動による北支治安の恢復、臨時政府の經濟支配圏の擴大は、聯銀券の實體强化のための不可缺な要件であつたのである。昨年六月十日の舊法幣の流通禁止から始まつて八月七日の法幣一割切下げ、本年二月十日の三割切下げと果敢な通貨闘爭を續け、遂に一年足らずにして敗殘法幣の一掃に着手するまでに漕ぎつけたことは北支通貨工作の大成功といつてよい。

こゝで起る問題は、爲替管理實現による聯銀券の實體强化が今後の北支經濟工作に對しいかなる意味を持つものであるか、法幣一掃の宣言はしたがそれが果して容易に實行されるものであるかどうか、第三國銀行の動向、北支貿易の前途はどうであるか等である。通貨闘爭は一段落に達したとはいへ、それは基礎工作を終つたといふことである。聯銀券の將來、したがつて日滿支經濟ブロックの結成にはなほ幾多の重要問題がある。それには聯銀券の基礎條件、聯銀券を繞る環境がいかに困難なものであるかといふことが考へられねばならぬ。聯銀券の實體强化、北支唯一の通貨としての機能獲得は、要するにそれ等の困難なる諸條件を一つ一つ克服してゆくことに他ならぬからである。

聯銀券を繞る困難な條件としては、北支の輸出入が不均衡であり入超狀態を示してゐること、事變後に於いては中南支經濟と切斷された狀態となつてゐること、北支貿易に於いて第三國勢力が强大であること、法幣はなほ殘存勢力を持つてゐること、日滿支間に於いて通貨工作と物資工作とに不一致が存すること等が擧げられる。貿易爲替管理の斷行はこれ等諸困難の克服に向つて斷乎たる步みを踏み出したものである。

北支に於ける貿易、爲替管理は一と口に言へば、中國聯合銀行による爲替集中政策なのである。北支に對する日滿中南支、第三國商品の輸出は聯銀の獲得した外國爲替を限度として許可されるのを原則とする。重要輸出品十三品目が指定されその輸移出爲替は聯銀に賣却するを要する。聯銀の基礎强化がこゝに豫想されるのである。

ファシスト廿週年記念祭で ム首相大獅子吼
十萬の會衆熱狂應ふ

【ローマ廿六日發國通】ファシスト廿周年記念祝賀祭は廿六日ムソリーニ大運動場において擧行された、定刻午前十時半全國から六萬五千の生え拔きのファシスト黨員代表及び黨團の首腦、各國大公使等總數十萬に上る會衆を前にしてムソリーニ首相は現下の國際情勢に處するイタリーの外交政策につきイタリーは自國の神聖な權利が承認されるまでは斷じて平和のイニシアチーヴをとらぬであらうとイタリーの强硬態度を表明し次の如く滔々大獅子吼を試みた

感動

ファシスト黨員代表諸君余は諸君の面前に立ち深き感動を以て諸君と共に過ごし來た忘れ得ぬ長き月日を想起する、一九一九年三月廿三日この日われ〱はファシズムの國旗を掲げたのである、この黨旗の下に大戰の勇士等は相結びこの旗を護つ幾多われ等の同志はイタリー各地に斃れた、これ等同志の追憶は常にわれ等の胸中に留つてゐる、諸君は常に銃をとりトラックを驅り而して叩く用意を有するファシスト革命は未だ終つてゐない否或る點では今開始されたばかりである、われ〱が過去廿年間に建設したファシズムの業績は今後何世紀にも亘つて存續するであらう、一九一九年三月廿三日ミラノにおける結黨式は共產主義の三威の中にさゝやかなものに過ぎなかつたが、一九三九年暴月廿三日の今日では全國に亘つて統一され訓練され而して海の彼方に雄飛しつゝある、この大イタリーの威容を見よ、こゝに重要なのはわれ〱が既に成し遂げたところではなく、今後成さんとするところにである、ファシズムの意思は如何なる障碍をも乘越えて進むであらう、諸君はファシスト革命を防衛する前衛であることを

銘記

されよ、ファシスト革命は歐洲政局重大化の最中に廿周年記念を迎へた、われ〱の進むべき道は左の如く明かである

一、職業的平和主義者の最も唾棄すべき活動により將來「平和」なる言葉は屢々使用されるであらうが、イタリーは自己の最も神聖な權利が認められるまでは斷じて平和のイニシアチーヴをとらぬであらう

一、イタリーが英佛からのワルツへの誘ひに應じた時代は全く過去のものとなつた彼等にこの時代を想起せしめるだけでもそれは全イタリー人に對する侮辱であるベルリン樞軸に水をささうとする試みは子供じみてゐる、獨伊樞軸は二大國民の連繫である、最近中歐に相ついで起つた諸事件は必然の產物である、余は併せて斷言する、若し將來全體主義國家に對して統一戰線が結成される場合があれば全體主義國家群は敢然挑戰に應じ全線にわたり反擊を試みるであらう

一、余はゼノア演說においてイタリーとフランスの間に障壁の存することを述べたこの障壁は今や充分打ち壞された、かくて一兩日中に或は數時間中に光輝あるフランコ軍の勇敢なる將兵はわれわれの敵等がファシズムの墓と期待してゐたマドリッドに共產主義の墓地を造りつゝある

一、われ〱は一九三八年十二月十七日の通商においてフランスに關する問題即ちチュニス・スエズ・ヂブチ問題を明確に示したがこの問題に關しわれ〱は世界の採決を求めるものではなく唯世界がこれを知つて置くことを望む、フランス政府はこの問題に關し常に斷じて不可といふ態度を繰返し示してゐるが、これを拒否するもそれはフランス政府の自由であるが佛伊間の溝は深くなりこれを埋めることが頗る困難となつてもフランス政府は不平を言つてはならないのである、われ〱は最早や佛伊兩國間の關係をラテン民族の兄弟關係と呼ぶことを欲しない國と國との關係は力の關係であり、かゝる力の關係が各國の方針を決定する要因となるからである

一、地理的、歷史的、政治的、戰略的に見て地中海はイタリーにとつては生命線である、余が地中海と呼ぶのはスラヴ人よりも遙かにイタリーの權益の多いアドリア海をも當然含むものである

一、われ〱は更に多くの大砲を、軍艦を、そして飛行機を造らねばならぬ、これがわれ〱の相言葉であるわれ〱凡ゆる手段を盡し如何なる代價をも支拂ひ文明的なる生活を犧牲にしても軍備を完成せねばならぬわれ〱が强力であればわれ〱は友人と親密になりわれ〱の敵からは尊敬されることゝなる、われ〱は昔より備へなきものに不幸ありといはれてゐることを記憶せねばならない、光輝ある黑シャツ黨員よ、われ〱は過去において戰つたと同樣將來も戰ふであらう、若しイタリーの權益とファシズムの權益が危殆に瀕することがあればわれ〱は喜んでわれ〱の血を流すであらう

一、諸君の勇氣、諸君の犧牲、諸君の信念を以て諸君は歷史の車輪に一押しを加へたのである、余は諸君に問ふ諸君は名譽を求めるか、諸君は報酬を求めるか、諸君は快適なる生活を望むか、諸君の前に不可能の言葉ありや(この時聽衆一齊に否々と呼號)信ぜよ、服從せよ、而して戰へといふ三語こそは過去、現在、將來を通じ勝利の秘決なのである

植民地問題回答 伊より近く要求されん

【ベルリン廿六日發國通】ムソリーニ首相の演說はドイツ政界に多大の感銘を與へ、殊にムソリーニ首相がベルリンローマ樞軸の强靱性を强調し獨伊兩國の斷乎たる決意を世界に向つて披瀝したことは頗る好評を博してゐる、消息通はイタリーが今回のムソリーニ首相の演說を通じて遂にチュニス、ヂブチ、スエズ運河の三地方に對する要求を初めて公言した事實に注目し、これ等の植民地問題は遲かれ早かれ何等かの回答を要求するに至るであらうと見てゐる

ム首相返電

【ローマ廿六日發國通】ヒトラー總統の祝電を受けたムソリーニ首相は廿六日直ちに返電しヒトラー總統の好意を謝し併せて獨伊關係の强靱性を強調し左の如く述べた

ファシスト黨廿周年記念祭に當り貴下が贈られた友好的祝電に對し余はこゝに深甚なる謝意を表す、わが獨伊兩國の革新的運動は新しき生活原理によつていよ〱固く結合され舊世界の反動的乃至保守的陣營を動搖解體せしめつゝある、同時に吾々の革新的動向は新たなる基礎の上に立つ歐洲文明の健全なる發展を達成せしめんがため人類共同の敵としてボルシェビズムの危險と戰ひこれを打倒すべく愈々伸長しつゝあるは眞に同慶の至りである

ヒトラー總統 ム首相に祝電

【ベルリン廿五日發國通】ヒトラー總統はファシスト黨廿周年を迎へたに對しムソリーニ首相宛て祝電を送つて慶祝の意を表した

わがドイツ國民は獨伊兩國の正當な發展と當然の要求を拒まんとする凡有る企圖に對し常にイタリーの側に立つてこれと闘爭するであらう、イタリー國民は憎惡と無理解とから出發し獨伊兩國の當然にして且つ死活的な決意を破碎せんとしつゝ世界平和を攪亂せんとする策謀に對し立派に自衞の戰ひを戰ひ拔いたが、今後ともかゝる策謀に對してはドイツはイタリーと同じ理想の下に敢然起つてイタリーの側に立つ決意である

高松宮殿下 北支を御視察

【北京廿七日發國通】中支、南支の戰線に活躍遊ばされた高松宮殿下には廿五日午後零時半空路北京御着、直ちに官邸にお成り、杉山最高指揮官以下に謁を賜はつた上更に有難き御犒ひの御言葉を賜り、凡そ一時間半に亘り建設途上を驀進する北支の現狀を具さに御聽取遊ばされた、續いて通州を御視察、日本大使館官邸の御宿舍に御一泊、廿六日は萬壽山、景山等にお成り、更に紫金城、故宮博物館等に御足を留めさせられて古都の春色を賞でさせられ廿七日午前九時再び空路御歸還あらせられた

佛政界觀測

【パリ廿六日發國通】パリ政界では廿六日のムソリーニ首相演說は情勢の急迫にも拘らず何等具體的要求を提出して居らず問題は將來に持越されず佛伊間の橋は未だ切斷されずとの見解が有力である、パリ政界消息通の見解を綜合すると左の通り

一、ムソリーニ首相の獨伊樞軸擁護は當然で今更驚くに當らない

一、昨年十二月十七日のイタリーの對佛通牒はムソリーニ首相の主張する如く何等明確な要求を含んでをらず從つてイタリーがチュニス、ヂブチ、スエズ運河について一體何を要求せんとするかその意圖が判然しない、而して一方三地方についてのフランスの讓步範圍は既に明瞭でイタリーがフランスの讓步程度の何處が不滿であるか明かにされない以上言葉の遊戲に過ぎない

一、ムソリーニ首相演說の問題は當分現狀維持となり今後の發展は復活祭迄待つ外はない

はたらく男! 松岡前總裁の功績

理事、副總裁、總裁を前後二十年滿鐵に關係し、大陸開發に全生命を打ち込んだ滿鐵總裁松岡洋右氏は、三月二十四日附總裁の要職を辭し參議として廟議に參畫することになつた、口八丁手八丁働く男として內外の視聽を集めてゐた同氏だけに滿洲に殘した功績は實に偉大である、そのうち主なるものを摘記すると左の如きものがある

▲交通運營の一元化 滿洲事變を契機として滿鐵は全滿交通の總攬者たるの地位に立つたが、之が經營を一元化する爲昭和十一年十月從來の鐵道部、鐵路總局、北鮮鐵道管理局を廢止し新に鐵道總局を奉天に設置した、其の後新情勢に對應し鐵道總局と本社間の業務の圓滑、全滿交通運營の整備を計る爲、昭和十三年十月職制改正を行ひ總局に業務課、人事局、附業局、水運局、自動車局を新設し本社、總局間に於て部、局課長の兼務制を採用す

▲新線建設 葉峰線等二〇線約二、五〇〇粁の新線建設を完了し、總裁多年の抱負たりし滿洲鐵道一萬粁突破の實現を見た、其の內承通線は今次事變に際し超快速建設を斷行し、鐵道建設史上に新時代を劃し軍作戰に多大の貢獻を爲す

▲港灣の整備 鐵道と密接不離の關係にある港灣の整備擴張に意を注ぎ之が發展に努力した、即ち羅津港の建設、葫蘆島港工事の進捗、大連港の擴張計畫、全滿の諸港灣整備計畫を樹立し、其の工事は着々進行中にして產業五箇年計畫並有時の際に備へ遺憾なきを期した

▲運輸の整備 開拓鐵道の使命達成の爲運輸機關の整備、改善、運賃の改正等を計り產業開發に多大の努力を拂つた

(イ)日滿支直通運輸開始 昭和十三年十月 滿直通運輸を實施することゝし釜山北京間直通列車運轉を開始し大陸交通に新生面を開く

(ロ)貨物運賃の大改正 貨物運賃の滿洲產業開發に及ぼす影響の大なるものあるを痛感し、開拓鐵道の使命よりして累次之が改正を行つて來たが昭和十三年に於ては更に總裁の英斷に依り五月に石炭運賃、引續き十月に穀類、鐵鑛、牧畜、木材運賃の劃期的引下を敢行せり、之に伴ふ會社の犧牲額は同年度のみにても一千五百萬圓乃至一千八百萬圓に達すべく、之が滿洲產業開發促進に寄與するところ絕大なるものがある

▲製油、製鐵業の擴充 總裁は日本が直面しつゝある非常時局に鑑み、非常なる熱意を以て燃料國策並鐵國策に寄與すべく會社の關係部門を動員す

イ、製油事業 頁岩油工業は昭和十一年度より三箇年計畫にて第二次擴張を行ひ工場の建設も略完了せしを以て、第一次五十萬瓲計畫中の大半は昭和十四年度より實現を見ることゝなり引續き第二次五十萬瓲增產を計畫す、石炭液化事業は工場の建設も略完了し近く操業開始に至る見込となる、尚本事業の重要性に鑑み獨人ハンスギルタ氏を招聘し全然別途に新規の方法を研究せしめてゐる

ロ、製鐵業 總裁は就任以來直系會社たる昭和製鋼所の陣容を洞察して第三次、第四次の大增產計畫を繰上げ實行せしめ製鐵國策に一大寄與を爲したる外、滿鐵內に於ては日下式海綿鐵製造方法の研究を完成せしめ、之を基礎として國防上軍事上最重要なる特殊鋼の製造を企業化する爲撫順に製鐵試驗工場を設け生產開始の運に至つた又日下純鐵を材料とする滿鐵刀は今次事變に際し其の優秀なる性能を確認せられ、爲に其の需要多く大連鐵道工場內に滿鐵刀製作所を設置本格的生產に着手す

▲調查研究機關の擴充 總裁は滿鐵が創業以來其の使命達成上實施し來れる國策的調查研究の重要性に著眼し、就任以來之が達成に大に意を用ゐて來たが、特に東亞の新情勢が要請する國家的調查業務實施の爲調查部、中央試驗所並東京、奉天、新京、哈爾濱、北京、上海等の現地調查機關より成る一大調查機構を樹立して東亞全般に亘り綜合的調查研究を行ふことゝし、茲に初代總裁後藤新平伯の遠大なる抱負を實現するに至つた

▲支那事變に對する寄與 滿鐵は事變前より既に支那に經濟開發の爲の調查機關を設置して居たが、總裁就任後興中公司華北汽車公司等を設立し滿鐵の別動隊として事業方面にも積極的活動を開始せしめた、昭和十二年七月今次事變勃發と同時に軍の委託に基き北支に於ける戰時鐵道を監理し軍事輸送を開始すると共に宣撫工作、經濟工作等の爲現地滿鐵諸機關は固より會社全能力を擧げて協力し、之が爲派遣せし社員一萬數千名に上り又多數資材の供給を爲し軍作戰に多大の寄與を爲す、是等の支那に於ける滿鐵の活動は支那經濟再建の基礎を確立し、北支開發株式會社設立及北支……株式會社設立に重……割を爲すに至つた……未だ公表の時機に……秘密裡の活動も……き程である

▲移民事業 總裁は開拓鐵道の……上移民事業の重要……に著目し、既に同……に於て大連農事……東亞勸業會社の……用ゐて來た、滿洲……於ては百萬戶移民……策に即應し滿洲拓……拓殖等に出資する……に對する高率の……引を行つた、其の……警村の設置經營……勇隊に對する援助……來た

▲對外宣傳 國策的對外宣傳……鑑み之に力を注ぎ……那事變勃發以來は……機關を動員して日……國に對する外國人……正に努力した

廣州灣、雷州半島の軍事施設强化 神經過敏の佛當局

【香港廿七日發國通】當地における支那側の報道によれば極東の防備に神經過敏となりつゝあるフランス當局は最近安南防備及びカムラン灣海軍根據地の建造のみに飽足らず更に廣州灣に强力なる海軍根據地を設けることゝなり、廣州灣の大島嶼たる東海島及び硇洲島に砲臺を設け防空施設をなすほか雷州半島の東岸佛領內の西營、赤坎兩地に飛行場を設けることになつたといはれる

陸軍々事參議官會同開催

【東京國通】陸軍では廿七日午前十時より陸相官邸に非公式軍事參議官會同を開催、梨本元帥宮、東久邇中將宮兩殿下を始め奉り寺內、畑、西尾各參議官ならびに板垣陸相、中島參謀次長、山脇次官、宇佐美侍從武官長等參列し陸相ならびに關係官より最近の戰況、一般內外情勢及び議會において成立した陸軍豫算及び關係諸法案等に關し說明あり隔意なき懇談を重ねて正午過ぎ散會した

國務院會議

第十四次國務院會議は廿七日午後二時より國務院會議室で開催左記事項を決定した

一、錦熱蒙地整理機關設置要綱

二、地政局官制 熱河省內の蒙地整理事業は權利關係の錯綜政治關係の伏在により地方行政の全責任を有する省として行はしめるを妥當と認め省の外局として地政局を設置し本事業を管掌せしめんとするによる

三、衛生技術廠官制中改正の件 傳染病豫防治療材料製造作業の擴大に伴ひ定員增加の要あるによる

南昌前衛陣地突破 わが歷史的大作戰の跡

【〇〇廿六日發國通】江西の首都南昌防衛のため敵が數ヶ月を費して構築した修水の線もわが軍の疾風怒濤の如き

進擊

の前にもろくも潰え大迂回包圍追擊を敢行したわが軍は廿六日午前遂に目的地南昌を指呼の間に望む對岸に進出したがこの大作戰の中に於ても特に修水渡河戰は曾つて一九一七年九月歐州大戰における獨軍のリガ突破作戰にも比すべき大戰果であつた、即ち河巾三百米、增水期には四百米に上る修水河の南岸約六十キロに亘る一帶には敵が德安敗退以來數ヶ月の長きに亘り營々として構築した巾五十米に上る數線の陣地を設け河岸には鐵條網の網を繞らし隙もなく地雷を埋めて一大要塞を形成し剩へ月餘に亘る豪雨の爲附近一帶は文字通りの泥濘と化しこの新マジノ・ラインの突破は殆んど不可能に近い難事とされてゐたのであるが、わが將兵の言語に絕する努力は全き天祐と相俟つて見事この難關を突破せしめたのであつたこの輝かしい成功をなしたのは實に一ヶ月わが將兵が筆舌につくし難き勞苦を耐へしのんで完了した

周到

なる準備と作戰企圖の徹底的秘匿、近代兵器集中の作戰であつた、我方は膝を沒する泥濘の裡を修水北岸一帶に向け數……個の大部隊を秘密裡に……たのであるが、北岸……く道なく泥濘の如き……してをり部隊の移動……しき彈藥車輛等……暗夜の豪雨を衝き敵……ゝなされたのであつ……わが軍は數ヶ月の各……戰に於て血のにじむ……を行ひ、一切の準備……かくて十九日我軍は……河の布陣を布いたが……兵を苦しめた雨霧は……の煙幕となつてわが……を敵より全く遮斷そ……に增水した河水は南……網地雷を洗ひ流すに……で廿日夕刻二百餘門……擊下に突如張られた……風は敵陣內に煙幕を……にたゝかれ低く流れ……個部隊のわが大軍は……分にして一擧に渡河……大集團をも見事渡河……瞬く間に第一線陣地……第二陣地をも突破し……る、右の大戰果は勿……

神速

果敢な……果であ……周到無比な作戰計畫……面、本作戰に終始幸……の然らしめたところ

ソ聯の人口 一億七千萬

【モスクワ廿五日發國通】ソ聯國家計畫委員會は一月十七日を期して全國一齊に擧行された全聯邦國勢調查の結果につき廿五日その……を發表した、これによればソヴィエト聯邦の現人口は一億七千十二萬六千名で……なほ調查の確定結……中に發表の……だが、昨年一月實……國勢調查の結果は……を見ずに終り、本……やりなほしたもの……ば過去四ヶ年にソ……三五年發表の人口……四百三十七萬八千……見たことゝなる

安良城事務官

安良城產業部事務官は今……在產業部執務室主任……ることゝなり、廿八……で赴任する

投書中傷的不歡迎但採否不返却

林野局の記事を見つゝ

（東方の區民）

林野局今回の不祥事は吾々日本人として、それが直接無關係の立場としても眞に相濟まぬ事である、特に薦任官四名も加はつて居た點は尚更いろく考へさせられる、上司の不逞を知らず命之れ服して眞面目に勤いた下積みの人達を思ふと、氣の毒であるし同時に惡影響が……と考へさせられる、官邊では司法部各機關を充實するとか新聞に見えたが、そんな事では九牛の一毛にも足らぬ、モット各界擧つての目覺めが欲しい、特に賞罰等は余程嚴格にせねばならぬ。一例を擧げて見るならば全然無收入の身を以て公職、名譽職と巧みに游ぎ廻り、禁斷の阿片は吸入、妾は持つ、概略生活費月額二百圓は掛るとは眞に近い巷說で、事情を知る區內滿人連は「他的心ホワイラ」とか「小盗兒カンホージ」とかと蔭口さへ叩いてゐる、無理もない、他に勤めを持つでなし、土地一坪、家一軒所有せず全くの無收入なのだそうだから…更に驚かされるのはそんなのがイツの場合でも所謂表彰なるものに漏れた事がないと云ふ、表彰の下積みとなつて眞面目に働く連中こそイイ面の皮と云ひ得べしだ…この連中こそ表彰を受くべき者なのに…玆でそれぐの向きへ大に反省を促すべき文句の出る所だがそれは省略する、要するに王道樂土出現は前途餘りにも遠く感ぜられる一考すべきだ、そして民族の何れを問はず舞台面のみから見ないで、樂屋裏にも限を徹して正邪を嚴密にすべきである

滿拓本年度所要資金 一億六千餘萬圓
目下當局と折衝中

開拓國策擴充に伴ふ滿洲拓植公社明年度（本年四月以降明年三月に至る）事業計畫も頗る多岐廣範に亘り從つて同公社資金計畫も總計一億六千五百萬圓と尨大なものとなり目下桑見經理課長は淺野副參事を帶同、日本側大藏、拓務兩當局に對し承認を求めつゝある、即ち同社は本年度において訓練所地方事務所を增設するため八千五百萬圓、物品資材購入に一千萬圓、前年度借入金の償還に七千萬圓、合計一億六千五百萬圓でこれが資金調達は社債により一億一千萬圓、株式最終拂込千六百七十萬圓、特別會計融資の回收二千七百萬圓その他である、然して今次行はれる第三回拂込によつて同社は全額拂込となるが、目下開拓業務の進展につれ同社の倍額或は三倍增資が關係各方面で協議されてゐる

滿業の飛行機製造
事業愈よ軌道に乘る

滿洲重工業では曩に自動車の大量生產を行ふべき新會社を設立することに決定したが自動車と同樣

緊急 着手の必要ある飛行機の製造についても原料工業よりの一貫作業による大量生產の工業を起すべく飛行機製造設備に對する資材調達方につき研究を進めてゐたところ最近に至り資材の調達に關し確實なる見透しを得たので愈々こゝに劃期的大事業に着手することゝなつた、即ち右資材調達方については鮎川總裁及び前原滿飛副理事長等を中心に工作が進められてゐたものであるが鮎川、吉野正副總裁の東上中に事態は俄かに好轉を見せ急速着手の決意をなすに充分なる材料を得たので兩氏は企業の規模並に手筈に關する大綱的方針を樹立して急遽新京に歸任滿洲國政府並に關東軍當局との間に協議打合せを遂げ吉野氏は廿五日發、鮎川氏は廿六日發飛行機で再び東上した、仍つて計畫は今後の鮎川氏の活躍を中心に一步一步具體化に向つて近づくことゝなり自動車工業の確立と相俟つて滿業設立の根本使命はこゝに愈々その軌道に乘つて來た譯である、而して右計畫の規模に就いては既に大綱的決定を見て居りその內容は嚴秘に附せられて居るが仄聞するところによれば極めて尨大なるものであり五ヶ年計畫の目標數字を凌駕して居るものと見られ滿業では既に奉天に於て滿洲飛行機の舊工場敷地を中心に二百萬坪の土地を買收してゐる、事業主體としては滿洲飛行機を

增資 してこれに行はしめるか或は新たに會社を設立するか資材調達の條件によつて決定される譯であり今後の問題として殘されてゐる

製造は一貫作業
原料工業より仕上工業へ

滿業の飛行機及び自動車の製造工業は步調を揃へてスタートを切ることゝなつたが滿業ではこれに伴つて兩工業の重要原料たるアルミニウムの製造をも擴充することゝなり滿洲輕金屬の安東工場を從來計畫の約二倍に擴大することゝなつた、これと同時に自動車工業に對する必須素材たる純鐵の製造は東邊道開發會社の通化工場の當初の計畫を豫定通り進捗せしめる筈で昭和製鋼所における鐵鋼增產計畫の進捗と相俟つて飛行機、自動車の製造に對する原料製造工業は全面的發展を遂げることゝなつた、豐富なる資源を有する滿洲における飛行機、自動車の製造工業は原料工業より仕上工業までの一貫作業である點に於て日本のそれとは大いに趣を異にし、其故に採算上より大量生產の規模を要請されてゐる、且つ一般的に機械工業の發達して居ないこの土地に於ては兩事業とも多岐に亘る部分品工業を殆んど全部自らの手によつて行はねばならず從つて兩者とも極めて世帶の大きなものとなり包容的綜合的な工場を設立するものと豫想される、これと同時に兩事業の部分品工業の枝葉として各種の原料工業並に機械工業が起りこれ等が綜合工場の周圍に蝟集するは必定でありこの方面に於ける內地業者の進出も相當著しきものと豫想され相俟つて滿洲における工業水準の向上に貢獻するものと期待される

新自動車會社首腦
日產自動車より招聘

日滿支ブロックの大陸における中核となるべき滿洲國が東亞の新事態に處しての活躍に緊要なる自動車の製造工業については鮎川氏の所謂外資問題の成立如何に拘らず急速に着手の必要に迫られたので過般滿業及び滿洲國政府、關東軍の間に協議をとげた結果取敢ず滿業の子會社として資本金一億圓の新會社を設立することに決定したが爾來滿洲國政府において同社の會社法を立案し脫稿を見たので廿七日の國務院會議に上程の上近く公布、これと同時に滿業において會社設立に關する諸般の準備を進め來る五六月頃には設立の運びに至るものと豫想される、同社は部分品工業より組立工業に至る綜合的自動車製造工業であるので組立工業たる同和自動車とは別個のものとして奉天に工場を設置し重役陣及び技術的中心に當る人々には日產自動車より人材を招來する豫定である、機械設備についても大部分は內地より購入するが綜合的工場である關係より日本の自動車製造工業とは趣を異にする大量生產の規模を要請され、從つて設備の中樞的部分を外國より購入しなければならない實情にあるものと想像される從つて爲替資金の關係等より工場建設の進捗は大體來年度よりと豫想されるが外資問題の成立を見れば直ちに急速なる進展に向つて拍車をかけられるものと見られる、生產目標としては差當つては五ヶ年計畫の線に沿つて進むが將來は更に擴張を見る筈である

綿製造業者追加指定

原棉、綿製品統制法第五條に依り綿業聯合會が綿製品を買上げ得る綿織物、綿メリヤス製造業者として左の三社が廿五日附產業部令で追加指定された

東洋紡織會社、內外綿紡績會社、滿洲福紡會社

電々株主總會

電々會社では廿八日午前十時より同社講堂に於いて定時株主總會を開催し利益金處分案定款一部變更の件を附議するなほ株主配當は年六分である

母國訪問記
（3）敷島高女旅行團便り

三月二十日　下關—嚴島

母國!!夢に描いた母國、淡霞の懸つた木々、紫の山、小さな古ぼけた家、總て落着いた景色を眺めた時、懷しい祖國だといふ事をはつきりと感じた棧橋を渡り櫻咲く憧れの土をしつかりと踏しめる、滿洲はまだ一枚の葉もない木々が寒むそうに蒙古風にかれてゐたのに、內地はすつかり春で綠に還はれてゐた…路の中央に祝出征武運長久、大きく書かれてゐるのが眼につく、私達は木造の家が際間なく立ち並んだ狹い感じの下關の町を通る、道行く人の質素な着物、朝早くから重い籠を荷負つて行く女の人、滿洲では見かけぬ事だけに心が引き緊る、山陽百貨店の屋上より遠く壇の浦を望む、その昔戰に敗れた平家の公達はこの荒波の藻屑と消えたのだ、僅か八才のおいたはしい幼君安德天皇は畏れ多くも　位尼の手に抱かれて千尋の底に尊い玉體を御沈め奉つたのだ、思ひ起すとあまりにも悲しい當時の御有樣が浮ぶ樣な氣がした、町の方を見ると黑い瓦の家、枝振りのいゝ松、何をみても懷かしい物ばかりだ

×　　×

私達は日本三景の一宮島へと向つた、暖い春の田園の中を狹い汽車に搖られて椿の花、みかんの木、ちらほら見える桃の花に歡聲を上げて行く。どこもく和な眺めだ、この美しい自然の中に育つた日本國民が歌をよみ、美術に秀でゐるのも當然な事と思はれた。所々の藥ぶきの家では古びた國旗がたなびいてゐる、あれは出征兵士の出られた家だと思ふと共に、非常時日本の姿を見た私達は胸一杯の感謝と緊張を覺えた、やがて日本三奇橋の一つ錦帶橋を敎へていたゞく。遠くに小さく見えた宮島で牧先生にお會した。角帽に詰衿の服を着られてすつかり學生で「先生」と呼ぶのが變な氣がした、先生も一緒に嚴島行きの連絡船に乘り込む、嚴島へ!!と大きな期待を持つた少女を乘せた船は靜かに滑り出した、心よい春風に吹かれあたりの美しい景色に見とれてゐる內に、鬱蒼たる山を背景に紅の宮島居、紺碧の海、ちらほらと可愛い鹿日本を象徵する美しい嚴島の風景が見えた、海岸には貝殼や竹細工のお土產等賣つてゐるお店が私達を待つてゐるかのやうに並んでゐる、船を降り日本家屋の落ち着いた宿に重いお荷物をあづけて一同は嬉しい見學に向ふ、先づ嚴島神社に參拜した、朱塗の神殿の御前に整列莊嚴な神氣に打たれて最敬禮の合圖に恭々しく額づいた、正面海上遠く雖れて大鳥居が立ち、滿潮には海水が床下に至つて社殿が水に浮ぶそうである、見晴台より見渡せば展開された嚴島は一層美しく櫻に杉、松がさながら西陣織の繪模樣にみえたその中にたつ五重の塔、朱塗の大鳥居、側にたわむれる鹿遙かに連なる山々、實に繪葉書そのまゝの眺だ、そこから麓をさしてよく曲つた徑を下つて行く、海岸傳ひには數へきれぬ位の澤山の燈籠が立ち並び海水に寫る樣はなんとも云へぬ美しさで、かつてイギリスの軍艦が沖から望んで一夜を明かしたそうである、夕方頃疲れた體でやつと宿に着く、牧先生より嚴島名物のおいしいお菓子をいたゞいた夕飯をいたゞいてから後は自由行動で色々のお土產を買ひ八時半頃歸つたがもうさわぐ人もなく誰とはなしに床についた、これからの樂しい事を思ひながら靜かに夢路についた

（近藤、中間記）

新京取引所週報（第十一號）

滿保大豆　週初當限六、七八〇四月限六、八四〇と寄付き强弱區々揉み合ひたるも奧地筋の賣物に押されて軟調を呈し其後は仕手一服に保合の商狀なりしところ週央豆油の强調を眺めて油房筋の一齊買進みにまばら追隨し急騰を演じた、其後高値は自肅自戒の申合はせによりて警戒せらるゝと共に利喰物も現はれ相場下押したるも引續く豆油の堅調と在庫薄、麻袋高等により反撥の氣配もありて當限六、九一〇四月限六、九六〇と底堅く越週せり

	高値	安値	出來高
	圓	圓	
三月限	六、九四〇	六、七一〇	一、五五八車
四月限	七、〇一〇	六、七六〇	一、五〇三車
五月限	出來不申		
六月限	出來不申		
本週總出來高			三、〇四〇車
一日平均			五〇七車

高粱　週初四月限四八三〇、五月限四九〇〇と寄付き値巾僅に五錢の釘付け狀態を繰返へしたるも週央他品の强調を眺めてヂリ高の步調を辿り十六日各限共五圓台を突破し新高値を示現せるも其後は大豆の軟調に急落を演じたり、週末は他品の堅調、麻袋高等にて强勢に轉じ三月限四、九一〇、四月限四、九九〇五月限五〇九〇と堅調裡に越週せり

	高値	安値	出來高
	圓	圓	
三月限	四、九七〇	四、七九〇	二三車
四月限	五、〇八〇	四、八〇〇	三三車
五月限	五、一一〇	四、九〇〇	三九車
六月限	出來不申		
本週總出來高			二六三車
一日平均			四四車

商況欄（二十七日後場）

各地株式市況

●大連株式（短期）

●奉天株式（短期）

	寄付	大引
五品	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
滿業	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
新鐵	[illegible]	[illegible]
大滿	—	—
豆新	—	—
土木	—	—
滿取	[illegible]	[illegible]
東新	—	—
大業	—	—
滿新	—	—
同產	—	—
日品	—	—
五紡	—	—
鐘鐵	—	—
滿新	—	—
同鐘	—	—
新甲	—	—
電乙	—	—

新京取引市況

●大豆	寄	引	出來高
先物	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四月限	—	—	—
五月限	—	—	—
六月限	—	—	—
七月限	—	—	—
●高粱			
三月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五月限	—	—	—
七月限	—	—	—

手形交換高（二十七日）

九九〇枚　二三五、一六二四、六四錢

家庭

指導法を誤れば不良になるもと
特に多い子供の嫉妬

近來「子供の嫉妬」が大きな問題となつて來ました、數年前にはこの問題は西洋にばかり見られて我國では大した問題ではなかつたのですが、都會生活や個人主義的な傾向が、强くなつて來たせゐか段々問題となつてきた譯です

自我の强い子に

▲△…幼兒の嫉妬＝平たく言へば子供のやきもちです、今迄大變「おとな」だつた子供が急に母親のあとを追ひ出す、些細なことで泣き出す、かと思ふと御飯の時に

ぐづぐづ言ひ始める、或ひは小便をもらしたり、寢小便をする、あんなに温和しかつた子供がまた再び赤ん坊になつてしまつたと思ふときがありますが、かういつた現象は既に幼兒の嫉妬の現れである場合が多いのです　そしてこの原因の大部分は自分の下に赤ん坊が出來た場合が十中八九であるのです

▲△…五つの子供で、とても温和しくいゝ子であつたのが急にむづかつたり、片言を喋舌つたりし始めて、全く

赤ん坊に逆戻りしてしまつた、それで不思議に思つて私の所へ參つたのですが、智能のテストをしてみると、これは標準以上なのです、從つて智能の缺陷ではなくて、次に出來た赤ん坊と母親の愛を爭ふ爲の子供の術策子供の嫉妬であつたのです　幼兒の嫉妬は、すてゝおけば、その子の性格其他によつては將來相當の不良にもなりかねないものですし、また嫉妬の現象として出て來たおねしよとか甘たれ其他が、將來の惡癖ともなりかねないものですから、母親としては可成り要心しなくてはなりません

▲△…先づその工作として、子供の嫉妬を起させぬ爲に、次に

生れて來る子供と共同の生活を頒け合つてゆく樣に、心の準備をさせておかなくてはいけません、次に以上の樣に子供の性格が變つたと思はれる樣な時には、先づ嫉妬を起したのではないかと言ふことを考へ、若しさうだつと分つたなら、母親は子供の術策に陷らぬ樣に、無視してしまふことも一つの方法です、いくら甘つたれても効果がないと、すぐ改めるものです　此際には、母親が十分の愛情をもつて指導に當らないと、却つて子供をひねくれたものとする虞があります

▲△……更に、かう言ふ子供は、その心の轉換を巧に計つてやることが大切です

例へば幼稚園へやつて、今迄の「一人天下」の狀態から集團生活の中で鍛へることも有力な嫉妬心の轉換でかうするとこれで忘れてしまふこともあります　要するに嫉妬では自我の强い子供や、あんまりチヤホヤされた子供などに多いものです、就中自我の强い子供は、時に大切に心して導かれることが肝要です

弱い子供によい 鯨肉のバタ煎り

鯨は刺身のやうに切つて、丼に入れそれに酒と醬油を少々かけておきます、大根は卸して汁を輕くしぼつた中へ醬油と酢を同量加へて柚子汁をしぼりこみ、之を小鉢にとりわけておきます、そこで鍋を火にかけ、バタを溶かし、鯨肉をならべ入れて兩面を燒きながら卸をつけて頂きます、榮養萬點、とても美味しい頂き方です

春ともなれば多くなる眼病
どうしたら防げる？

春先に眼病は殆どつきものゝやうです、血膜炎か、眼瞼炎とか眼乾燥症とか原因は、光線が非常に强くなるから、また外出が多くなつてホコリが眼に入るからと申します、なる程

直接の原因、つまりキツカケになるのはそれにちがひないのですが、その裏に根本的な原因をつくつてゐる榮養の問題を見のがしてゐたのでは如何に豫防しても豫防しきれないと思ふのです、それはこれまで冬の間は殊に新鮮な靑野菜の類にとぼしく、十分攝ることが出來なかつたこと、もう一つは冬には一般に

濃厚なものを食べるので、自然脂肪が多くなります　脂肪が多いとビタミンAの必要量をば增すものです、その缺乏がいろ〱な眼病を引き起すことになるのです、しかし、では一番不足してゐる冬の間になぜこの眼病が出て來ないかと云はれるのですか、それは夏、秋の季節に澤山攝つたのが體內に貯藏されてゐてそれを使つてゐたのですがさういつまでもつゞきません　遂に使ひ果たしたこの春先に來て、その

缺乏症の眼病にかゝるといふことになります、又春先には風邪もよく引きませうこれも榮養と大きな關係があるのです、普通春先きは陽氣の變り目で、急に暖くなつたり寒くなつたりするからと云つてゐますが、これも直接のことで、根本的にはビタミンADの使ひ果したといふことから抵抗力の減退を來し、風邪もひけばさま〴〵な病氣にもなりやすくなるといふわけです、さてこれらの根本的な豫防法は？まづ日常の食物を十分注意して攝ること、例へば摘草に行つて日光にあたると共に芹など澤山とつて來て

食膳にのぼすやうに、又小兒とか日常胃腸の弱い人とかで消化不良をおこすなら肝油のやうなものをごく少量とることです、但し注意することは、一般に肝油といふとあまり多く飲みすぎて、そのためかへつて不痢やその他の障害を起してゐることがありますからこの點は十分注意していたゞきたいものです

美味しい天ぷら―上手な揚げ方
胡麻油が最も一般向き

天ぷらを揚げる油はゴマ油、サラダ油、オリーブ油、落花生油などいろ〱ありますが最も一般向でしかもおいしいのはゴマ油でせう、衣の粉も隨分いろ〱と種類がありますが、メリケン粉は製粉後三ケ月位たつた古い粉の方がおいしく揚がります、粉をとくには先づ鷄卵三箇をよくあわ立て十分に黃味と白味がとけ合つてから器に入れ、それへ

粉一合に對し水一合五勺を加へて靜かにかきまぜます、無論、これでは水の分量が多いのですから後から少しづゝ粉を入れ足して行つて、どろりとしたところで止めます、最初練りもののやうに固くとき、後から水をそゝぎ足して調節することは禁物です、鍋は鐵鍋に限りますがクローム鍋でも十分間に合ひます、火加減もなか〱厄介なもので炭火が最もよいが、一般の方にはガスの方が調節しやすいでせう、一尺の鍋なら油を七八合入れ、といた粉をちよつと落して見てパッと散る時が頃合で、この煮立ち工合が一番天ぷらには適してゐます、揚げる時間は材料によつて一樣にはいへませんがおよそ三分位で揚げます

手早くサッと揚げることが肝腎で、殊にイカやハシラは火を强くして手早く揚げなければいけません、それから汁は二合を作るとして水一合七八勺を煮立て、鰹節六匁位を入れ、更に水五勺程を加へて煮出し、出し殼を除きます、別に醬油五六勺を煮立てゝ浮き上るあわをとりながら一二分間煮つめ、これに砂糖五匁程を入れて更に一二分間煮つめ、それに味淋三勺程を入れて直ぐに火から下します、これを前の出し汁を適度にまぜて味を加減するのです

料理メモ
春の味覺萬點 蕗のサラダ

出たての蕗の香味を生かした美味しいサラダです、蕗は茹でゝ皮をむき、水でサラシてから、短册に切ります、蕗で玉子をこまかに刻んでおきます蕗をマヨネーズソースで和へて、上から蕗で玉子のみじん切りをかけて供します

半襟と……他の部分の調和

陽の光が鮮かになつてまゐりまして半襟の色調が不調和ですと餘計に目立ちます

（ま）づ着物との關係では△着物の色目が濃厚な時は―半襟は明快に△着物の色目が明快な時は―半襟は濃厚に△柄が複雜な時は―半襟の方は單純に△柄が單純の時は―襟は複雜に

（次）に皮膚の色との關係ですが△皮膚の白い人には―半襟は鮮明な色、明快なものがよく、鈍重なものは不適當です△皮膚の淺黑い人には―半襟は中間色の燻んだ色目がよく、明快なものは不適當でないことですが、もつと世間の人は注意を拂つてよいことでせう△肥つた人ならば―半襟の色目は寒色系の明快でないもの、柄は曲線的でなく直線の單純のものがよく、掛け方は幅を出來るだけ狹く且膨らみを表はさぬこと△瘦せた人ならば―半襟の色は暖色系統がよく、かけ方は幅を廣く膨らみを表すやうにして下さい

（最）後に、體質との關係ですが、これは割合に言はれてゐます

美しいお顏もハタケで台なし
肌の柔かい婦人や子供が惱まされる

肌が汗ばむ頃になると水虫など皮膚の寄生菌になやまされます、殊にハタケはよく子供や婦人の顏に出來て不快でもあり、放つておくと擴がつて見苦しくなりますから輕い中に直してしまはなければなりません、ハタケはどうして出來るかといひますと系狀菌といふ一種の

黴が皮膚に寄生し、表皮の中に入つて擴がつて行くので、そのために表面の皮がボロボロに崩れて來ます、性質としては濕氣を好み、空氣を好まないのは黴と同じで、そのために皮膚の中に入り込むと長く生きてゐてよく繁殖するわけです　從つて皮膚の丈夫な人にはつきにくゝ、子供や柔かい肌の婦人に出來易いのです

このハタケは黴と同じく胞子によつて傳染します、時には襟卷などからうつることもありますが、婦人の場合は多くは化粧品や化粧道具によるやうです、化粧品はすべて中に黴菌が繁殖したり油が變質したり、しないやう防腐劑を入れてありますが、この防腐劑の多くは黴を殺す力がありません　そこでハタケその他の胞子は生きてゐて、それが弱い皮膚に附くと、すぐに中に入り込んで行くのです

化粧品の中でもハタケの原因になり易いのは主として練白粉、水白粉などで、化粧道具では水刷毛やパフが危險です、汚れたパフや、突つ込みばなしの水刷毛には黴の大好きな濕氣が充分なので、胞子はどし〱殖えて行きます、ハタケを豫防するためにも、化粧道具の淸潔と乾燥が大切です

療法としては從來行はれてゐる塗布劑がやはり一番有効なやうです、その處方は

サルチル酸　三―一五
グリセリン　一〇
アルコール　九〇
クエン酸　〇・五―一・〇

この液を一日一回筆で塗りつければ治ること請合ひです

なほハタケの菌は酸に弱いですが、化粧品は殆どアルカリ性ですから時々柑橘類の汁などをつけるのもいゝでせう、しかしこれだけで治すといふほどの力はありません、またハタケのために皮膚がバサ〱になつたら一方に藥を塗りながら一方に表皮にはクリームなどで油氣を補ふことも大切です

要望の交換
警民懇談會の效果

警民協和懇談會は回を重ねるに從つて效果を擧げ、二十五日各署一齊に行はれた第三回の會合も隔意ない意見の交換を行つて好成績であつたが、記念公會堂における中央通署管下分の重要事項は左の如くであつた、警察側要望では

◇浮浪者排强工作に關する件「許可證のないボロ買やバタ屋及び神社の祭禮などにうるさく付纏ふ乞食などはどし〱警察に突き出すなり電話をかけるなどして犯罪の因子となる浮浪者を驅逐する樣協力され度い」と言ふ警察側の說明に「それでは少々拳骨で毆つてもいゝですか？」と民間側より質問、大笑ひをさせたが「そこは適當に！」と小澤署長が名答し

◇資源調査の趣旨徹底に關する件　國家の樹立した總動員計畫と密接な關係を持つ資源調査の重要性を强調し又毫も徵稅の手段には用ひないので正直な申告をする樣要望したに對し、小商店等においては株式不馴れのため商略上いゝ加減な申告のあることを認め、且つ公定價格五十五錢の麻袋が一圓三十錢に、一噸三百五十圓の鐵材が七百圓に闇取引されてゐる現狀が暴露されて經濟警察設立の必要性を裏書きする新事實が副產物として飛び出し滿場を緊張させた

◇交通道德普及徹底方に關する件　民間側數島區提出話題交通事故防止に關する件と相互に關係があるので一括して上程、交通事故の大半が自動車のスピード超過にあるから嚴重取締る樣民間側から要望がおきたと思ふと、自動車營業者から深夜車道をトラとなつてのし步く通行者がいけない、これを取締るのが先決問題だと民間同志で賑かな論戰が展開された

◇自轉車檢査實施に關する件　數島區提出自轉車盜難豫防策に關する件と一括上程、四月中旬實施される本年度自轉車定期檢査には完全修理と盜難豫防上必要な施錠固著の上指定日時に必ず必檢する樣、當日出席者より一般に周知する樣方法を講ずることに決したが、一日平均中央通署管內だけでも四、五件を數へる自轉車盜難が問題となり昔から「とるものは泥棒、とられるものはべら棒」と言ふ事はあるが旋錠してゐても數人組となつて盜むので何等かの方法を講ぜられたいと民間側から要望があり警察側でも善處する旨答へた

民間側要望事項では警察官の行動に關する件で俄然民間側から一部の警察官に對する批難が論議されたが、森田警務科長、主催者協和會の誠意ある說明があつた

けふの番組
［M・T・C・Y 新京放送局］廿八日（火曜日）

朝
七、〇〇（大連）ラヂオ體操、入港船のお知らせ
七、二〇　ニュース
七、二五（大連）講座 中等滿洲語 秩父固太郎
七、五〇（大連）朝の音樂（レコード）
八、二〇　氣象通報
八、五〇（東京）建國體操
九、〇五（東京）經濟市況
九、三〇（東京）家庭講座
一〇、〇〇　鮮魚の話 新京中央卸賣市場
一〇、二五　料理獻立 窪津一二三
一〇、三五　家庭メモ
一〇、四〇（大・新）經濟市況
一一、三五（大連）經濟市況
一一、四〇（東京）經濟市況
一一、五九（東京）時報

晝
〇、〇一　晝の演藝（レコード）
〇、三〇（東・新）ニュース
一、〇〇（大・新）經濟市況
三、〇〇（大・新）經濟市況
三、二〇（東京）經濟市況
四、〇〇（東京）ニュース 氣象通報・ニュース
四、四〇（大・新）經濟市況

夜
五、二〇　ニュース「鮮語」 南道俗謠「鮮語」 金錦紅
六、〇〇（哈爾濱）子供の時間 一、六字歌 二、遊山歌 外 ハーモニカ合奏 桃山小學校ハーモニカバンド 一、居眠りの早春 二、日の丸行進曲 三、皇軍大捷の歌 四、軍歌名曲集 五、瀬戸の風景 六、愛國行進曲 編曲指揮 佐藤正夫
六、二〇（東京）コドモの新聞 關屋五十二
六、三五（哈爾濱）初等ロシア語講座 櫻木新吾
七、〇〇（東京）ニュース・職業紹介・告知事項・今晩の番組
七、三〇（東京）國民歌謠 獨唱 長門美保 永田絃次郎 一、白百合 西條八十作詞 大中寅二作曲（長門） 二、朝 島崎藤村作詞 小田進吾作曲（永田） 伴奏 東京放送管絃樂團 指揮 池讓
七、四〇（北京）講演 津浦線全通に至るまで 陸軍少將 橫山靜雄
八、〇〇（大阪）浪花節 南部坂 吉田奈良丸
八、四〇（大連）チエロ獨奏 高勇吉 一、ハンガリア狂想曲 ポッパー作曲 二、祈りの歌 グルック作曲 三、ガヴオット ポッパー作曲 四、宵待草 多忠亮作曲
九、一〇（東京）講談 愛宕山出世の春駒 大島伯鶴
九、三九（東京）時報・ニュース・ニュース解說 氣象通報・ニュース・告知事項・明日の番組
一〇、三〇　今日のニュース
一〇、四〇（哈爾濱）北滿の時間
アナウンサー 上森（朝）田中、池谷（晝）荒井、渡邊（夜）

新刊紹介
主婦之友（四月號）

△第一附錄「經濟的で美味しいお惣菜向の支那料理と西洋料理の作り方三百種」第二附錄「未經驗者にも絕對に失敗のない實用家庭染色の秘訣集」を初めとする四大附錄の奮發ぶりに加へて「主婦之友」四月號は「結婚相談」の大特輯である△理想的な結婚といふものに抽象化さないで努めて、現實的な體驗や經濟的な方面から行屆いた指導がなされてゐる△呼物の「白衣の天使の從軍日記」は「若き從軍看護婦が、同時應召の良人を同じ戰線に失ひ、なほかつ祖國に殉じやうとする烈々たる手記である△同じ意味で岡本一平畵伯の「亡妻かの子を憶ふ」にも涵たれる△小說ではやはり石坂洋次郎氏の「曉の合唱」の魅力を第一に推したい（特價六十五錢送料十錢、東京神田駿河臺、主婦之友社發行）

……創作……

或る環境（三）

高磯光

（カット……中野政行畫）

河野は何時かすばらしい切つかけはないかと每夜來る度に思つて居つた時なのでうれしかつた。「うーん、少し許り」「うらやましいわ。わたしに教へてよ、ね、御願ひだから」と強要されてみると河野は醉が大分廻つてゐたので氣輕だつた。「ではこゝで教へてやらう」とあり合せの「まぼろしの影を慕ひて雨の日に……」のワルツのレコードをかけさせ、先づ姿勢から一寸手ほどきしてからステップを踏む要領を教へ、手と手を合せ、一緒について來る迄、教へてその晩は歸ることにした。照子は悅んで「どうも有難たう。これから每晩こゝへ來たとき教へてね」と熱心だつた。次の日は日曜日だつたので朝十時頃河野が行くと待つてゐたやうに「今日晝間ホールへ連れて行つて呉れません」と昨夜の出來事からすつかり河野を信賴してゐた。河野は笑ひたかつたが平氣を裝つて「うーん」と承諾のかはりに頭をさげて見せた。暫らくすると黑い洋裝で晴れやかな顏をして出て來た。

彼等は身を切るやうな寒さをのがれてKホールに這入つた。客は晝間でも割合に多く醉つた人達も二、三人ゐて賑やかだつた。河野や三宅は前からよくこゝへ通つて仲々の顏役だつた。「今日は珍らしい客と御一緒なのね、紹介してよ」河野等の踊り相手だつた和子が珍らしさうに近くへやつて來た。河野はてれくさい素振りを一寸したが躊躇せず「松本照子と云ふんだよ、今度ダンスを習ひたいとすごい張り切り方なんだ、君一つリードして呉れないか」「まあ、たのもしいこと、わたしでもいゝけれど別に教師がゐるからその人に紹介してあげるわ」と和子は商賣ずれした氣輕な調子で早速背の高い男のやうに髮を短かくした女教師に紹介して呉れた。教師は親切に手ほどきしてよく教へて呉れたので照子はすつかり好意をもつた。濟んだ後で「どうだつたね」と河野が聞くと「とつても面白いわ、早く上手になつてあなたの相手になつてみたいわ」次の日から河野は主任について一週間許り哈爾濱へ出張したが、其間照子は每夜のやうにその教師のところへ通ひ相當すべれるやうになつて居つた。だから一週間過ぎて河野が出張から歸ると飛び上るやうに悅んだ。「ねー河野さん、あれ以來ずつと每晩のやうにあの人のところへ通つてとうとうワルツとブルースだけ覺えつちやつたの」「何んと熱心なことだ、そんなに仕事に精を出したら君も相當立派になるんだがね」と、冗談を云つて河野はひやかしてみたものゝ心の中では悅んでゐた。「ねーそれで御願ひがあるの、今日は大晦日、もう今年は永久に歸らないの、だから是非今晩をあなたと踊り通してみたいの」照子は小さな子供みたいに河野に甘えるのだつた。河野も先程役所から三宅のさそひもあつたしすぐ快諾して二人はあはたゞしい大晦日の往來を馬車を走らせた。ホールは一杯の人出だつたダンサー達は思ひ〱の假裝に身を飾つて若鮎の如くぴん〱しながらあくことのない享樂のひとゝきをほしいまゝにしてゐた。

客もこの雰圍氣にすつかりつり込まれて我れを忘れてすべつてゐた。誰れが誰やらホールは踊るすき間もなく河野はビールを飲み乍ら照子と二人で片隅の方に座つてゐた。何時の間にか三宅が酒に醉つた體をふら〱させ乍ら河野の傍にやつて來て「待つて居つたぞ」と云つたが照子に氣が付いて河野の耳元に口をつけて「誰れだ」と尋ねた。河野は「照ちやんと云つて僕の通ひつけのT食堂の者なんだ、今日踊りたいと云ふので一緒にやつて來たのだよ」照子ははずかしい樣子をして「どうぞ宜しく」と小さい聲で云ふと輕く頭を下げた。三宅は簡單に河野と話をすると又人ごみの中に消えて行つた。「では照ちやん御手軟かに賴むよ」と云ふや否や河野は照子の手を取つて音樂に合せてすべり出した。ダンサーとばかり踊つてゐたから始めは幾分重さうに感じたが、三、四回やつてゐる中に照子はすつかり河野のリードについてくるやうになり、雰圍氣にも心がぴつたりして來た。二人とも唯默つてぎゆつとにぎつた手と手に感ずる壓力、ステップ每に感ずる接觸部の衝動をリズムの合間に強く感じた。

二人は三、四回續づけ樣に踊つたのですつかり汗ばんだので一寸休むことにした「どうも有難たう」照子は素人に似合はずこんな時でも女としての禮儀を忘れなかつた。「馬鹿に上手になつたもんだね、あれ位ならもう僕の相手としては十分だ」河野は自分の事のやうに悅んだ。そこにやはり三宅が汗ばんでやつて來た「踊り乍ら見てゐたが仲々うまいものですね」三人は夜も大分更けたので外へ出、近くの蕎麥屋で空腹を滿たし、三宅は歸つたが、河野は照子をT食堂へ歿りとゞけてから下宿に歸つた。各々歸るとすぐ除夜の鐘が聞えた。

河野はせめて最後の日に照子と踊ることが出來てい〻年を送つたと思つた。

敗戰支那の記錄

上海の一年（3）

邵洵美
大內隆雄譯

私は繰り返しその二人の永年仕事に當つてゐる人間に今度の戰爭が不可避であることを、我々もそれを避けようと思ふべきではないことを說いた、彼らは私にたゞ店の資金の運轉がうまく行かぬといふことそして彼等がいかに苦心經營に當つてゐるかといふことを語るだけであつた、それ以上私の見識が足らぬといふ意味まで暗示するのだつた。私は心中恨んだがそれは何の役にもたゝなかつた、理窟を言つても駄目であつた、それに今は主人の權利を立張すべき時ではなかつた、この店も何れはこの人間たちのものになるのだ、そこであつさりと彼らを慰めてやつた、そして萬一開戰となつたらどういふ風にするかといふことを相談した。そして午後五時の汽車に乘つて上海に歸つて來た。

私は五時に驛に行つた。汽車は一時間も遲れて驛に入つて來た。驛長に訊くと專用列車の關係だと彼は答へた。驛にゐる旅客たちの樣子を見ても平常とは異つてゐた。偶然一人の銀行の支店長が人群の中にゐるのを見付けた、その周圍には多くの白粉、臙脂をつけた女たちがゐた、綢緞首飾につゝまれた子供たちがゐた、まるで一家で何かお祝ひの宴席にでも行くやうな樣子だつた、しかし彼等の緊張した狼狽した有樣は人類の相貌がかくまでに醜惡になるかと考へさすものがあつた。それから女房や子供を荷物と一しよに背負つて數百里の道を進まうとする別の階級の仲間を見た。手には何枚かの靑い切符を持つて、ふるへる唇で女房が四等車の時刻を間違へたことで文句を言つてゐる、それから又赤い顔をして慌てゝ汽車賃をよけいに拂ひはしなかつたかと計算してゐる、眼前のこの二種の人間は一幅の活ける漫畫であつた、私は或る種の主義を多くの人が信ずるのも斯うした明瞭な對照からだと思つた。

滬上の雜鬧は去年みんなが南京に行つて役人となつたあの時に似てゐた。私が買つたのは二等の切符だつた、二等の席はいつぱいだつた。私は一等の方に行つて覗いてみた椅子もよりかゝる時も空きはなかつた。行李を道に置いて椅子にしてゐるものもあつた行李を椅子にしてゐるものもゐた、一等にも明らかに三等の客がゐた三等車がいつぱいで入れなかつたのだ。彼らは笑ひながらみんなに言つてゐるやうだつた「一等車、一等車つて、こんなものか」もう席を取つてゐるものも澤山ゐた、いやらしいといふ表情をしてゐた、その中にはいつも新聞で何々會議出席者として書かれる人物もゐた、或ひは追悼會や展覽會の名簿に名前が出される人物がゐた。或る科長が大きな聲で私を呼んだ。そして更に大きな聲で避難かねと私に尋ねた。彼は又大きな聲で笑つて言つた。「見給へ、車の中は君と僕を除けば大部分は避難者だ、僕は昨日上海から南京へ行つたんだ、ずうつと上海から南京に避難する車中を見たよ、今日は又こんなに南京から上海に避難してゐる」これは仲々聰明な言葉だつた、彼はさう言つて得意げにあたりを見廻した、どの客も彼の方を見てゐた。

一人よく知つた車掌がゐて私に席を探してくれた、しかしその席にも籠やなんかゞ積んであつて私はそこへ行かなかつた。その車室には外に五人の乘客がゐた。私達四人は片方に坐り、向ひ側は一人の子供と横になつた老夫人だつた。彼女は病氣だつた。その後私が窓をしめてやつたりしたので彼女は私に禮を言つた、彼女は六十七歲だつた、子供はその孫だつた、九歲である彼女の二人の子供はともに死んで、いま彼女の女婿が蕪湖から蘇州へ連れて行き蘇州には住宅を買つたといふ話だつた。彼女は本來肥えてゐたのだが二ケ月前に風邪を引きまだよくならず今では骨と皮になつてしまつた、それに長年喘息がありこの避難は大變辛いといふことを話した。

バクゲキ機

巨きな發展

―橋本英吉「村の活動」―
（『驛の芽立』所載）

橋本はこゝで一つの發展を示してゐる。こゝではユーモラスな筆致が用ひられ、ユーモアのある情景の中に日本農村の嚴しい姿が活寫されてゐる。

苦惱してゐる村、一つの活路として養豚事業が奬勵される。意地になつて豚の仔を賣りつける男、頑くなゝ村の男たち、若い青年、さうした人物が交る〲現はれて來てこの物語を展開せしめる。副業奬勵の大講演會を開かうといふ時になつて講師が來ず會場は大混亂に陷る、その中に立つた男が女と逃げたことが判る。その男も又いつの間にか村に歸つて來て、今度は豚の病氣が流行し捨値で豚を買つて廻つてゐる。

橋本の描寫力、構成力もこゝでは見事なものになつてをり、この作品はすでに一つのクラシックとも言へる位の氣品を示してゐる。これは近來の大きた收穫であらうはじめ何に發表されたのか知らぬが、新刊のこの作品集で讀み、私はこゝろたのしいこゝであつた。

（御垣衛士）

學藝消息

△島木健作氏　二十二日出發朝鮮を經四月上旬入滿豫定

△阿部知二、今日出海、眞船豐三氏　四月九日東京發來滿する

さむぞら

河野義男

晚秋の月、青白い
人通りの絶えた商埠地
時々通過するバス
野良犬の鳴く聲が
遠く絶え〲に聞える
兄弟よ、何しに行く
夜の沙漠に似た靜寂……
城內はまだだ
おそい、蹄の響
二人は無言の儘、思ひふけつてゐる

星が一つ、流れて消える
顏に映る月影、寒さうに
兄は
弟へ首巻をかけてやる

こゝろ

みんな捨てよう
どうせ消える
煙草の煙だ
×
みんな忘れよう
冷めたく消える
うつろた夢だ
×
みんな捨てゝ
忘れよう
何つか來るよ
花咲く春が……

孤獨と深夜

師走の深夜
青白い月
遠いあの日を
思ひ出させ
見澄す眸に
泪は宿る
×
薄暗い孤獨の部屋
ボーン
螺子の緩んだ時計
不氣味に
暫し時をおいて、又
ボーン……
×
泪に映る月影
雪より冷めたく
泣き濡れた手を
胸に重ねて
睡らうとして
眠れない……

十三の乙女

私は知つてゐる
十三の乙女が
遠いみ空の星を
讀めるやうになつたのを
×
私は知つてゐる
十三の乙女が
澄みきつた水の面に
淡い夢を描くことを
×
私は知つてゐる
十三の乙女が
薄い薔薇模樣の便箋を
買ひ求めるやうになつたのを
何故か、私は知つてゐる

文化、保健施設もお流れ
資材難 諸計畫悉く行惱み

各方面から深刻に叫ばれてゐる國都の殺人的住宅難は當局必死の對處策にも拘らず建築資材の根本的拂底と人口の急激なる自然增加に依り惱みは何時解消するとも現在のところ全く見當がつかず唯建築五ヶ年計畫實現の曉に依つてのみ始めて一縷の望を託してをる有樣であるが、建築難は住宅のみでなく大建築物にも影響し本年中は大部分み送り狀態となり豫てより市公署で市民のため計畫された文化娛樂保健施設等も資材不足のため變更或は延期の餘儀なき狀態に立至るのではないかと懸念されてゐる、即ち滿映スタヂオ附近の既設住地は既に現在の申込みで一杯々々となり新規に宅地を造成するにしても上下水道、道路に使用する鐵管、セメントが手に入らず、南新京附近綜合市民娛樂場等も無期延期當分は先づ見込なく南嶺の動物園も大量資材を要する工事は今後に持ちこされ最小限度に縮小、今年度より着工されることとなつてゐた大同公園內の體育館も明年に持ち込されそうな有樣で現在國都市民に最も必要とされてゐる各種文化施設は全面的に制限變更、延期は逃がれ難きものとみられるに至つた

連京線漸く復舊

下り貨物第八九九列車の顚覆により連京線は上下線とも不通となつたが、逸早く馳けつけた救援隊必死の努力により午後三時に至り復舊したが、これがため連京線のダイヤは大混亂に陷り下りはとの奉天着は三時間半の延着となり、その他各線連絡の支障で奉天驛はごつた返しの有樣である

觀光バス案內孃再募集

愈よ觀光シーズンを迎へ新京交通會社では先に觀光バスを午前午後二回に增車し又滿人專用觀光バスを新設國都觀光客のサービス陣の完璧を期して居るが日に增し激增する來訪者のため更に日本語說明附きのバス三台を增車すること〻なり先頃よりこれが案內孃を募集中であつたが締切りを三十一日迄に延期し再募集を行つてゐる、なほ資格は女學校卒業となつてゐるがそれに拘泥せず應募されたいと

電々新京社員養成所開所式

滿洲電信電話會社附屬新京社員養成所は來る四月五日同社會議室において開所式を行ふが、同時に新入の生徒六百名の入學式を擧行することになつた、同日は大連の社員養成所においても四百名の入學式を行ふが、合計一千名の生徒は一年乃至二年の敎習を受けて同社のオペレーターとして活躍する筈である

滿鐵社友會總會

滿鐵社友會員六百餘名を擁せる滿鐵社友會新京分會の定時總會は二十六日午後六時から西廣場俱樂部で開催、竹中分會長をはじめ三百餘名出席、杉浦平八氏の開會の辭があつて一同岩田氏の指揮にて滿鐵社歌を合唱、鯉沼兵士郎氏役員を紹介、竹中分會長の挨拶、末岡幹事より十三年度會務及び會計報告をなし井上新京支社庶務課長の閉會の辭にて總會を終り午後七時より分會員家族慰安會に移り漫歲、レビューに哄笑爆笑和やかな雰圍氣をかもし出し最後に滿鐵三十年史の映畫に會社の發展を祝福し盛況裡に終了した

"螢の光"モンペ姿 力行村小學校卒業式

モンペ姿に威儀を正した卒業式が廿七日午前十時半より國都の田舍力行開拓村小學校に於て行はれた、卒業する生徒四名は學友三十二名の「螢の光」の送別歌におくられて愈々學の舍から大陸開拓の小さな鬪志として巣立ちゆく事になつた【寫眞は卒業式(上)と力行村小學校々舍】

滿鐵從事員募集

食堂車及び旅館の內地人從業者を充實させ旅客のサービス向上をはかるため今回鐵道總局人事課では事務員六十名、料理手卅名、給仕男女の大量募集を行ふこと〻なつた、これは大連、新京、奉天、哈爾濱、牡丹江と近く開業される羅津ヤマトホテルに割當使用する從業員である

考へて見て下さい この食糧品騰貴
お台所からSOS

經濟部調查による二月中全滿主要廿都市生活必需品小賣物價指數は前月に比し三・三%前年同月に比し二五・二%とそれ〴〵大巾高騰を演じたがこれは舊正を控への季節的需要增大に原因してゐる、即ちこれを分類別に見るときは蔬菜類の九・一%を筆頭に穀類の六・九%魚類及び肉類四・一%、調味嗜好品三・三%、衣料及鞋類三・一%その他食料品二・四%、燃火燃料類〇・二%と前月に比し軒並强調を呈してゐる、然してこれら品目の中衣料鞋類の如き輸入商品の騰貴は日本における原料輸入抑制の結果として止むを得ないとしても穀類蔬菜類の如き食料品の驚異的昂騰は戰時下國民生活安定の見地から極めて考慮すべきでありこの點に對する政府の根本的對策が各方面から要望されてゐる

國婦一周年記念行事

來る四月三日に創立一周年記念日を迎へる滿洲國防婦人會では一周年記念行事について打合せ中であつたが、總本部より特に指示することなく各地方每に忠靈塔參拜、傷病兵慰問等を行ふことになつた

在米邦人米人實業家今夏來滿

川崎克代議士を會長とする日本貿易振興會では每年外人視察團を來朝せしめ外國人の對日認識に効果を擧げてゐるが本年は在米の邦人實業家及びその親密な米人實業家約廿名を招聘戰時下日本並に滿洲、支那の更生躍進振りを視察せしめることになつた、一行は六月廿九日ロスアンゼルスを出發日本經由の上七月十日新京に到着、三日間滯京し滿洲國朝野の要人、財界有力者と意見の交換を行ひ更に哈爾濱牡丹江、彌榮の開拓地、奉天撫順等を隈まなく視察し十八日奉天發北支に向ふ筈で關東軍及び滿洲國政府では一行の來滿はアメリカの對日滿認識を深める上に誠に時宜に適したものとして能ふる限りの便宜を圖ることになつた

開拓地のお年寄連 國都で一休み
歸鄕の道すがらけふ新京へ

伜や孫のすゝめで久方のお國拜見と北滿彌榮村からはるばる出かけたハリキリ婆さん、ハリキリ爺さんが故鄕に飾る錦ならぬモンペ姿で歸鄕への道すがら二十八日のあじあで新京にやつて來る、一行は驛から直ちに自動車を連ねて忠靈塔、新京神社を參拜の後、滿拓本社で午後三時から「としよりの見た開拓地風景」と題する座談會に出席、終つてから長途の旅路を一路平安を祈るべく新京西本願寺で御祈禱し、國都第一夜を偕拓寮で腰を伸ばし、二十九日はとで大連、旅順に向ふ豫定

狂犬禍 警官、恐水病で死亡

市內至善路政府第五代用官舍百二十八號居住、治安部警務司勤務福島幸次郎氏(二九)は二十五日晝頃から發熱し二十六日朝に至つて精神に異狀を來たしたので醫師の診斷を受けたところ恐水病と診斷され直ちに朝日通滿鐵醫院に擔ぎ込み手當を加へたが同日午後八時絕命、遂に國都最初の恐水病の犧牲者となつた、この報に接した當局では直ちに住宅附近一帶に亘り消毒萬全を期した、原因を調查したが氏は既報の如く去る二月十四日大同大街一圓に亘つて通行人十數名を咬傷、狂暴性を發揮市民を戰慄せしめた狂犬に右拇指を咬傷された被害者の一人で當時醫師の治療を受けたが豫防注射は十四日經過した後始めて施行したものと判明した、これについて首警衛生科當局は次の如く語つた、恐水病は狂犬の咬傷から起る病氣でかゝつたが最後必ず死亡すると言ふ恐るべきものである、咬傷を受けてから二ヶ月位潜伏すると言はれてゐるが然し咬傷個所病毒の如何によつてその發病期間にも長短はある、いづれにしても犬に咬傷された場合は直ちに警察に屆出ると共に醫師の治療及び豫防注射を施行し萬全の豫防を講ずることが肝要である

さらば社員諸君
……次代につぐ滿鐵のバトン 新舊總裁在京社員に挨拶

二十萬社員の親父としての務めを終つた松岡滿鐵前總裁と八億圓の大家台骨を背負つて起つた大村新總裁の在京社員に對する挨拶は、二十六日午後四時半から新京西廣場滿鐵俱樂部で行はれた、前總裁に對する離別の哀惜と新總裁を迎へた歡びをつきまぜた所謂悲喜交々の氣持を胸に二千社員が靜かに式場に整列すればモーニング姿で壇上に起つた松岡前總裁は今回辭任に到るまでの經緯を縷々說き來り

昔釋尊がいよ〳〵入寂するといふとき弟子共が今後の敎を乞うた、すると釋尊は一、法によれ、二、己を光となせ、三、人によるなと三つのことを守れと敎へた、滿鐵には三十餘年の滿鐵魂がある、外部から如何なることを言はうとも諸君はその滿鐵魂を遵奉して一意社業に邁進されたい、近き將來に於て亞細亞を一貫した大鐵道會社が生れたとすればそれは滿鐵魂の現れであることを私は信ずるものである

と大いに社員を激勵、次に一段聲を落して

私は二十七の年に大陸に關係してから三十三年になる恐らくこれで直接大陸との關係を絕つこと〻なるであらうことを思ふと、實に感慨無量なるものがある、然し今後內地に在つても大陸のことは決して忘れぬ積りである、諸君も從來通り私に對し御厚情を給はんことを御願ひ致します

と結んでそつとハンカチで顏を蔽ふ、ついで大村新總裁起つて滿洲開拓に不滅の金字塔を打立てた前總裁の功績を列擧して全幅の讃辭を呈し

老骨非才到底その任ではないが諸君の御支援によつて前總裁の抱負と經綸を踏襲し滿鐵魂の發揚に全力を盡す覺悟である

と前總裁に對する讃辭と確固たる今後の方針を述べ以上に對し社員を代表して古山新京支社次長起つて親父と仰ぐ前總裁に對し切々數千言敬慕と哀惜の衷情を披瀝し、また新總裁に對しては一致協力粉骨碎身會社のために精勵致す旨答辭を述べ、ブラスバンドの指導にて社歌合唱、最後に平島理事の發聲にて松岡前總裁の萬歲を三唱して式を閉ぢた なほ松岡前總裁と大村總裁は廿八日午後五時三十分發あじあで離京哈爾濱に赴く豫定【寫眞は新舊總裁離就任挨拶】

正當民意は實行へ 蒔いた芽は育てよ
警民懇談會へ要望

首都警察廳管下の第三回警民協和懇談會は既報の如く二十五日一齊に開催多大の成果を收めたが、既往の會合から鑑み將來この會をして一層意義あらしむべき方策に對し、種々なる改善意見が提出され當局に於てもそれ〴〵檢討中であるが、特に寬城子、和順、長通路署等滿人を主體とする管下の會合の結果から見た改善意見は次の如くである

一、民族別の會合にすること
現在の會合は日滿人合同の通譯付となつてゐるが、語學の關係から會議が冗長に流れ折角の會合をして無意味とする憂ひがあり、この缺點を除去するため滿系、日系と民族別の會合とする

一、會の結果を管內部民に徹底せしめる方策
本會の運用は從來一部上層階級の懇談に止り目的並に效果は極く小範圍に制限され種は蒔いたが芽が出ぬと言ふ傾向にあり、これを徹底せしめるため、(イ)結果を町會々報等に揭載の上各戶に配布せしめる、(ロ)現行の區單位を町會或は派出所單位として格式を拔いたくだけた會合とし眞の民衆の聲を聞くこと(ハ)農村地區に於て農繁期の開催は夜間を選ぶこと

一、正當なる民意は實行せよ
民間側の意見にして正當であり、且つ警察上より見ても何等支障なきものは直ちに實行に移すべきである、延いてはこの會を意義あらしめる所以である

一、この會合に市公署側よりも代表を出席せしめよ
會議の議題として提出されるものは多く警察的見地に立つものではあるが、市公署と連絡を要する密接な問題もしば〳〵提案される關係上市公署側代表の出席は會をして一層有效適切ならしめるものである

皇太子殿下還啓

【東京國通】皇太子殿下には去る一月五日以來葉山御用邸に御滯在あらせられてゐたが、廿七日午前十一時十五分儀仗大夫等を隨へさせられ特別電車にて東京驛御着、八旬振りに御機嫌麗しく赤坂東宮假御所に還啓あらせられた、廿八日午前御參內、天皇並に御機嫌を伺はせられ、皇后宮樣に初の御對面を遊ばされる御豫定に承る

古田前參議勳章親授式

皇帝陛下には先般參議を退官した古田正武氏に對し在官中の功勞を嘉せられ去る廿三日附を以て勳一位に敍せられ柱國章を賜つたが廿七日午前十一時勤民殿に於て張總理、熙宮內府大臣、張侍從武官長侍立の下にこれが親授式をとり行はせられた、更に正午よりは來京中の松岡前滿鐵總裁と〻もに午餐を賜はり席上種々有難き御慰勞の御言葉を拜し、感激して午後一時十五分帝宮を退下した【寫眞は親授式を終へた古田前參議】

小さい癖にたちが惡い!
……豆タクの不良運轉手

和やかな春風吹き初めた國都を輕快に走りまわつてゐる豆タクは其の姿態の可憐さにもかゝわらず相も變らず惡性な運轉手があとを絕たず市民の眉をひそめさせてゐる…

◇…廿七日午前九時頃中央通で三人連れの某特殊會社タイピスト孃が豆タクに乘り込むと「お孃さん達未だ出勤には早いよ、南嶺迄ドライヴしよう」と執拗にからむので氣味が惡くなつた三人は無理矢理に途中下車した

◇…今一つ廿七日午前十一時頃、滿鐵醫院の診療歸りの若夫婦が病院前で豆タクを拾つたが、あまり疾走するので「連れは病人だからゆつくりやつて吳れ」と注意すると「早く走るのが商賣だからね」と應酬してスピードをゆるめなかつた

右に關して新京國產自動車公司では左の如く語つた

運轉手の訓練と云つても私の方では社の服務規定を讀ませるだけです、正轉手と豫備運轉手と二通りありますが、この豫備の方がどうも出入りが激しいものですから質の惡いのがゐて困ります、今後注意して嚴重取締りませう

全國選拔中等野球

【甲子園國通】全國選拔中等學校野球大會は二十六日開幕され、まづ中京商業は七對二で海草中學を、海南中學は三對二で日大三中を、德島商業は五對二で栃木商業をそれぞれ破つたが、續く第二日の廿七日東邦商業が廿對一で浪速商業を破り、小倉工業は三A對一で大津商業を一蹴した

松岡大村滿鐵新舊兩總裁は今回の離就任にあたり時局柄披露等一切の冗費を陸海軍に恤兵金として獻金し社內外の招宴も一切辭退する旨表明した▼それじや費用をかけずに手製料理で別れを惜しまうと日頃腕自慢の平島さん土曜日の晩から泊りがけで某獵場に出掛け美事大鴨小鴨十數羽を射止めて意氣揚々▼ほんとうに手製の鴨料理で松岡前總裁と別れを惜んだといふことだ▼松岡さんのモットーとする大家族主義はかういふところにも現はれてゐるのは實に美しき限りである

けふの天氣 北の風晴後曇
きのふの氣溫 最高六度 最低零下九度六

若殿膝栗毛

（禁上演上映）

中川雨之助

竹越一郎畫

岡ッ引（三百三）

何しろ狭い樂屋であつたから一と眼で見てしまふことができた。

人は一人も居ないとか、或ひは居つたところで、みんな寢て居るとでも想つてゐたらしいその人影は、灯を圍んで居る博奕の一と組をみて、チヨット驚いた樣子であつた。

そして、暫らくヂッと樣子を窺つてゐたが、博奕組の方では誰もまだ氣がついて居らなかつた。

そのうちに、突然樂屋の一隅から、小兒の泣き聲が起つた。

すると、博奕の車座の中から、一人の女が急いで立上り小兒の泣いて居る方へ行つた小兒をほうつて置いて、その母親が、博奕に混つて居たのであつた。

が、その内儀さんは、通りすがりに、不圖張ボテの藍に佇んで居る件の人影をチラリと視た。

視ると同時に、顏色を失なつてガタガタ胴震ひを始めた一座の者とか、或ひは小屋に關係のある者だつたら、あんな處に忍んで居る筈はない

旅先の小屋で、よく幽靈が出たといふやうな話を聞く、或はそれでないかと思つたが幽靈にしては、二本の足があまりにハッキリ分り過ぎて居た。

『テッキリ是は、博奕に手が這入るのだ』と考へた。土地の目明しとか、諜者とかがヂッと樣子を窺つて居るのだと思つた。

小兒に添乳をしながら、その内儀さんは、生きた心地がなかつた。

どうかして、他の者に知らせてやりたいと思つても、下手に合圖なぞをすれば忽ちに思はれてならなかつた。

『御用！』と、十手が光るやうに思はれてならなかつた。

偖て、この黒影は何者か。

その前に、この岡崎の、あの旅籠屋に起つた今夜の騷ぎを語らねばならない。

それから、ちやうど二タ刻ほど前のことであつた。

同じこの岡崎の城下はづれ龜代松一座の芝居のかゝつてゐる處から、ものゝ三丁とは隔てぬ場末の『若荷屋』といふ安旅籠で、もう行燈を引いて寢ようかといつてゐる處へ『ハイ、御免よ』といつて、這つて來た男があつた。

男は四十前後だらう。縞の衣服に唐棧の羽織。尻端折にめくのパッチ、突つかけ草履といふいでたちだが、手拭で鼻先冠りをしてゐるので顏がハッキリ分らない。

『佐七さん、今夜は、めつぽう冷るぢやねえか』と、店に居合した若荷屋の主人佐七に聲をかけながら、その男は頬冠りを取つた。

見れば、岡ッ引の梅吉であ

た。男盛りで、腕があつて、岡崎の城下では、相當に名前の賣れてゐる岡ッ引であつた

主人の佐七は、驚いて帳場格子を乘り越して、火のそばへ座蒲團を直した。

『コレハ親分さんで……存じませんものですから飛んだ失禮を、お寒いのに、御苦勞さんでございます……サアどうぞ』

『オット靜かに……』

梅吉は、手で制して、チヨット裾の埃を拂つて上りかまちに腰をかけた。

羽織の下を探り、煙草入を拔くと同時に、腰の所で、チラリと十手が光つた。

『何か、お檢めでございますか』

佐七は、オドオドと問ふのだつた。

梅吉は、煙管をポンと叩いた。